

米に関するマンスリーレポート

(令和2年2月号)



「ここが分からない！マンレポ」掲載情報に関する読み解き方などを紹介しています
http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
2. 本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

農林水産省

目 次

今月の特集－令和元年産酒造好適米の生産量（推計値）

I 米の契約・販売

1 令和2年産備蓄米の政府買入	1
2 事前契約の取組状況	5
（1）令和元年産における契約月別の事前契約数量の推移（速報）	6
（2）事前契約数量と価格取決比率の推移	7
3 令和元年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、令和元年12月末現在）（速報）	9

II 米の在庫情報

（1）全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成25年7月末～令和2年6月末）（速報）	12
（2）産地別民間在庫の状況（前年同月比）	14
（3）平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）	15

III 米の価格情報

1 相対取引価格・数量	
（1）年産別の相対取引価格	23
（2）相対取引価格・数量（令和元年産米、産地品種銘柄別、令和元年12月分）（速報）	24
2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）	27
3 米の先物取引価格の推移	28
4 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和2年1月分）	29

IV 主食用米以外（輸出を含む）

1 令和元年産米の作付状況	
（1）令和元年産米の用途別作付面積及び生産量	31
（2）主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）	31
（3）新規需要米の用途別認定状況	31
2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要	
（1）30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）	32
（2）加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移	33
3 酒造好適米の需給状況	
（1）日本酒の出荷状況	34
（2）日本酒原料米の使用状況	34
（3）酒造好適米の生産量	35
（4）酒造好適米の需要量	35
4 飼料用米の需要量	36
5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について	38
6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について	39

V 支援事業等

(1) 水田活用の直接支払交付金	40
(2) 畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）	45
(3) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）	48
(4) 収入保険	50
(5) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業	52
(6) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト	54

VI 消費動向

(1) 米の消費動向（米穀機構による調査）	56
(2) 購入数量の推移（家計調査）	57
(3) 消費者物価指数の推移	58
(4) 小売物価統計の推移	59
(5) 米販売事業者における販売数量及び販売価格の動向	60
(6) 中食・外食事業者の米の仕入状況	61
(7) 小売価格の推移（POSデータ）	62

VII 輸入米（MA米、CPTPP・国別枠）の動向

1 MA米（一般、SBS）

(1) MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	63
(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成31年度・令和元年度）	64
(3) SBS輸入米の見積合わせ結果（令和元年度）	65

2 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和元年度）

VIII その他

(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果	67
(2) 令和元年産水稻の収穫量	68

今月の特集

【令和元年産酒造好適米の生産量（推計値）】

令和元年産酒造好適米の生産量を農産物検査結果から推計し、生産動向と需要動向の検証を行いました。

概要は以下のページで紹介しています。より詳細な情報は、下記URLよりご参照ください。

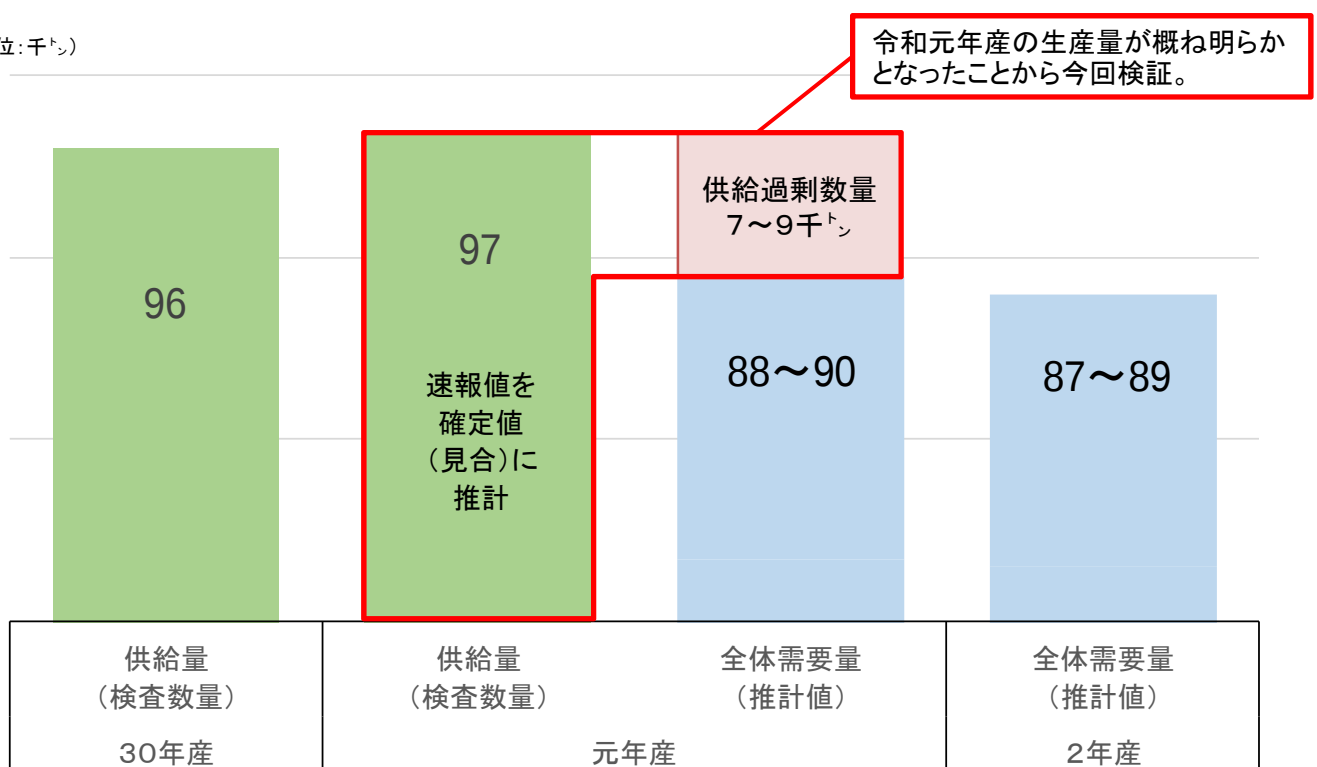
http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

【令和元年産酒造好適米の生産状況】

- 令和元年産酒造好適米の農産物検査数量（12月31日現在）がとりまとめられ、生産概況が明らかとなりました。これを元に令和元年産酒造好適米の生産量を推計したところ、97千トン程度と平成30年産と同程度の生産量が見込まれます。
- この結果、令和元年産酒造好適米の全体需給は、生産量が需要量を7～9千トン程度上回る状況と見込まれます。
- 令和2年産の作付けに当たっては、需要量調査結果や生産量等のデータを参考にしつつ、自らの生産量や販売動向、酒造メーカーからのニーズ等を踏まえ、需要に応じた生産に取り組むことが重要です。また、将来にわたって酒造好適米の安定生産・安定調達が可能となる複数年契約に取り組むことも重要です。

酒造好適米の全体需給状況見通し(推計)

(単位:千トン)



注1: 供給量は、農産物検査数量(醸造用玄米)の値。ただし、令和元年産は、令和元年12月31日現在の速報値を直近3カ年の12月31日現在の農産物検査数量の進捗率により確定値見合いに推計。

注2: 令和元年産及び令和2年産の需要量は、令和元年7月に実施した需要量調査結果から推計したものであり、それ以降の酒造メーカーにおける需給状況により変動する場合があることに留意する必要がある。

令和元年産酒造好適米の銘柄別生産状況

- 令和元年産酒造好適米の生産量は、直近3カ年の12月31日現在の農産物検査の進捗率から97千トと推計され、平成30年産とほぼ同程度の生産量となる見込みです。
- 主要な品種では、昨年に比べて作柄の良かった山田錦及び美山錦は微増となる一方、五百万石は減少する見込みです。

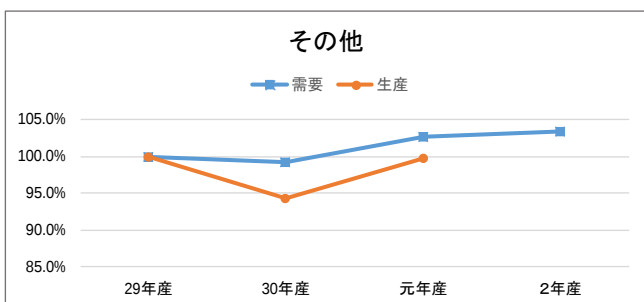
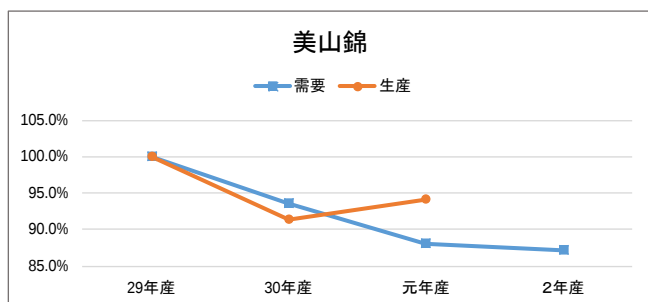
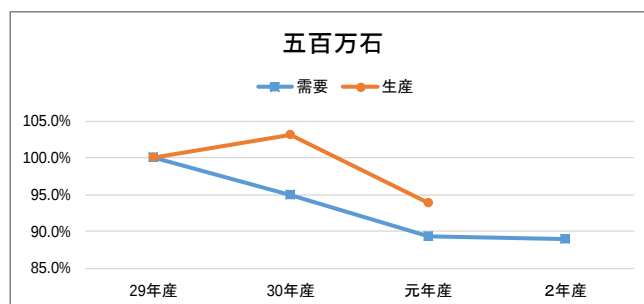
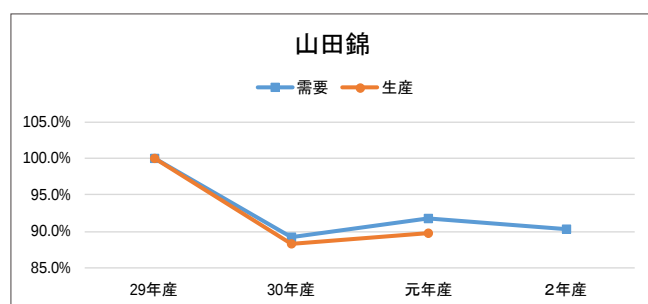
農産物検査数量（12月31日現在）及び令和元年産生産量の推計

（単位：トン、％）

品種	28年産		29年産			30年産			元年産		
	12月31日現在	確定値	12月31日現在	確定値	対前年比	12月31日現在	確定値	対前年比	12月31日現在	推計値	対前年比
山田錦	36,563	37,257	37,558	38,431	103.2%	33,071	33,916	88.3%	33,744	34,503	101.7%
五百万石	22,644	26,030	19,017	20,564	79.0%	18,935	21,203	103.1%	17,315	19,324	91.1%
美山錦	7,272	7,513	6,977	7,018	93.4%	6,239	6,408	91.3%	6,465	6,604	103.1%
その他	33,165	35,817	33,490	36,388	101.6%	32,153	34,330	94.3%	33,576	36,277	105.7%
総検査数量	99,644	106,618	97,042	102,400	96.0%	90,398	95,856	93.6%	91,099	96,708	100.9%

生産量と需要量の増減率の比較（平成29年産基準）

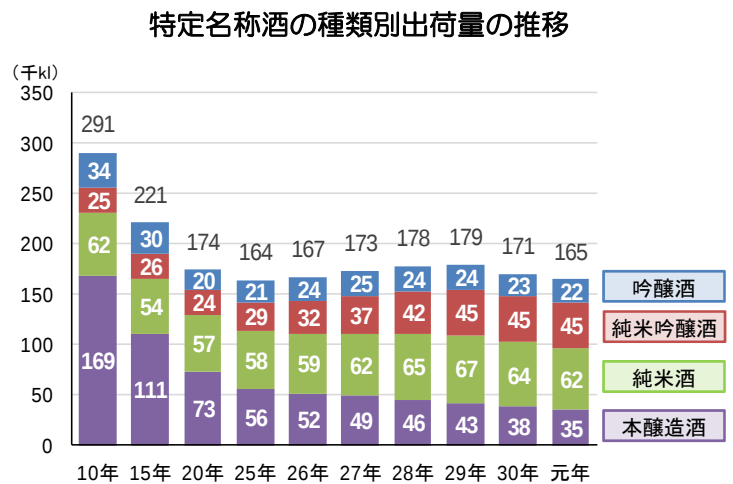
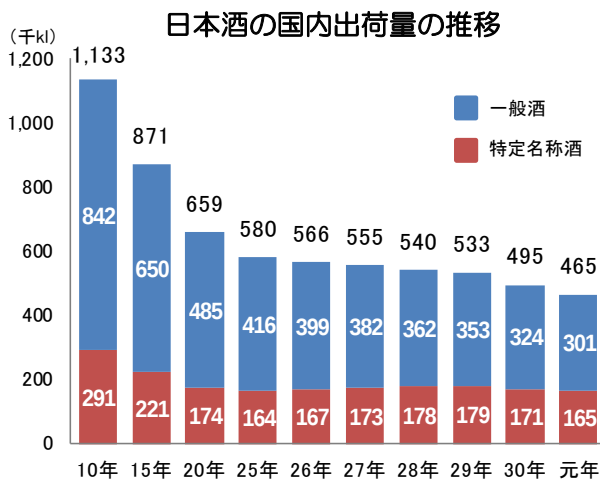
- 平成29年産を基準として酒造好適米の生産量（農産物検査数量）と需要量（需要量調査報告数量）の増減率を比較すると下図のとおりであり、全体的にはほぼ需要の増減の動きに応じた生産動向となっていることがうかがえます。
- 下図は需要動向に応じた生産動向となっているかを増減の動きで検証したものであり、定量的、地域的な需要の過不足を表しているものではないことに留意が必要です。したがって平成29年産において需要が均衡していたとするものではありません（平成29年産は酒造好適米全体で生産量が需要量を9％程度上回る状況）。
- 令和2年産に向けて、各産地においては、産地品種銘柄ごとの生産量と需要量の増減率や作況等のデータを参考にしつつ、これまでの自らの生産量や販売動向、酒造メーカーからのニーズ等を踏まえ、引き続き、需要に応じた生産に取り組むことが重要です。



以上のほか、産地品種銘柄ごとの生産量と需要量の増減率等の詳細な情報は、以下のURLを参照ください。
http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

日本酒の国内出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていましたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万kl程度まで減少しています。
- 一方、日本酒全体の国内出荷量が減少傾向で推移する中で、消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移しています。
- 平成30年は、日本酒の国内出荷量が前年比▲7%と大幅に減少し、特定名称酒についても、純米吟醸酒は堅調であったものの、本醸造酒等の減少により特定名称酒全体としては減少に転じました。令和元年においても、国内出荷量は前年比▲6%となっており、前年と同様の傾向が続いています。



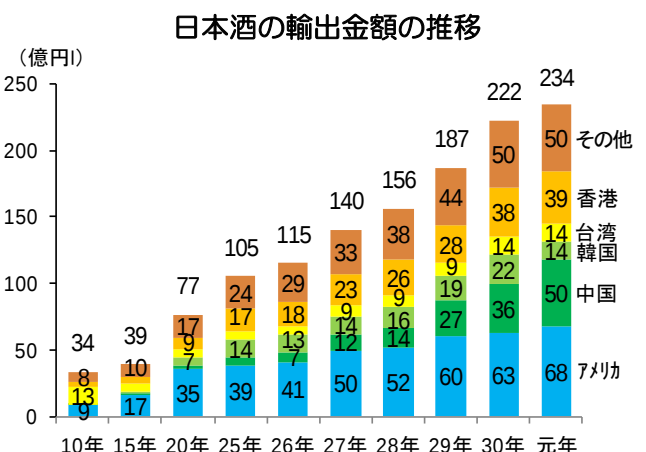
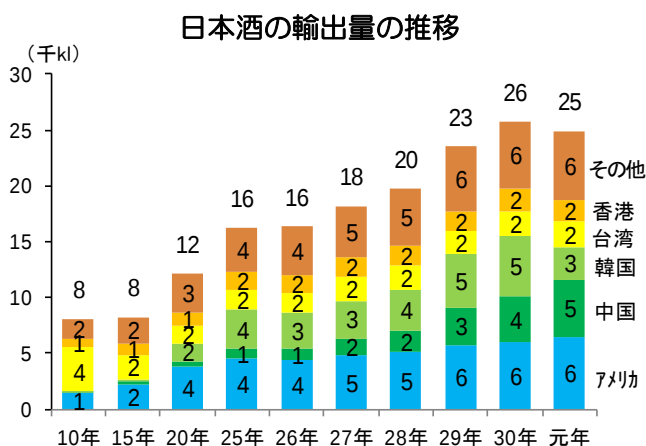
資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：国内出荷量は、清酒課税移出数量で元年は概算値。

注2：日本酒は、一般酒のほか、原料、製造方法等の違いによって吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

日本酒の輸出状況

- 日本酒の国内出荷量が減少傾向にある中、輸出については、海外での日本食ブーム等を背景に増加傾向にあります。また、日本酒の全出荷量に占める輸出量の割合は約5%にまで増加しています。ただし、元年の輸出量は減少に転じており、今後の動向に注視が必要です。
- 輸出先では、アメリカ、中国への輸出は増加している一方、韓国への輸出数量は減少しています。



資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

I 米の契約・販売

1 令和2年産備蓄米の政府買入

～令和元年産で改善した運用は継続！更に追加で改善！～

備蓄米は、不作により供給が減少する事態等に備えて蓄えておく、国民にとって重要なお米です。

このため、以下のように、産地がより取り組みやすくなるよう元年産で改善した①～③の運用は2年産も継続して実施し、更に新たに④～⑥を追加で改善しています。

① 優先枠の維持（継続）

- ・ 産地は元年産の落札実績を2年産から4年産まで優先枠として維持（2年産入札では、原則として第1回～第3回入札まで優先枠を維持）。

これにより、他産地と競合することなく、継続的・安定的に備蓄米に取り組むことが可能。

※「優先枠」とは、都道府県別に入札枠を設け、他県と競合することなく優先的に入札できるようにする仕組み。

② 国への引渡開始時期（継続）

- ・ 収穫後、速やかな国への引き渡しが可能（令和2年9月1日から可能）。

③ 農業者別結び付け要件（農業者別引渡数量報告）の廃止（継続）

- ・ J A等の集荷業者(売渡人)から国に対する備蓄米の農業者別引渡数量の報告を廃止。

※ 地域農業再生協議会別の備蓄米の取組面積を把握する必要があることから、地域農業再生協議会別の備蓄米引渡予定数量については報告が必要。

④ 電子入札の実施（新規）

- ・ 令和2年産から電子入札を実施。これにより、入札書を提出する時間や費用をかけずに入札への参加が可能。ただし、これまでどおり紙による入札も可能。

⑤ 穀粒判別器により測定した米穀を買入対象に追加（新規）

- ・ 農産物検査規格の要件（品位等級3等以上）に加え、穀粒判別器を活用した新要件による試験的な買入れを500トン程度実施。

これにより、従来どおりの農産物検査証明を受けた米穀のほか、新要件（穀粒判別器の測定結果）による米穀の国への売り渡しが可能。

⑥ 備蓄米もナラシ対策の対象（新規）

- ・ 産地からの要望に応じ、令和2年産から主食用米と同様に備蓄米もナラシ対策の対象。

令和2年産国内産米穀の政府買入れは、農林水産省ホームページの次のURLからご覧いただけます。
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/0207.html>

問い合わせ先 農林水産省政策統括官付農産企画課米穀需給班
代表：03-3502-8111（内線4975） 直通：03-6738-8973

令和2年産備蓄米の政府買入予定数量

備蓄米の政府買入予定数量	20万7千トン
うちCPTFP分	7千トン

(単位：トン)

都道府県別優先枠(第2回)	171,597
北海道	2,162
青 森	20,934
岩 手	3,078
宮 城	11,344
秋 田	20,660
山 形	19,182
福 島	25,820
茨 城	879
栃 木	6,090
群 馬	555
埼 玉	357
千 葉	3,797
新 潟	25,042
富 山	12,174
石 川	7,800
福 井	4,076
長 野	1,426
岐 阜	425
静 岡	20
愛 知	846
三 重	270
滋 賀	1,314
鳥 取	390
島 根	120
岡 山	789
広 島	20
徳 島	1,182
高 知	10
福 岡	264
佐 賀	220
長 崎	10
熊本	247
大 分	94
一般枠(指定なし)	19,744
合 計	191,341

令和2年産備蓄米の政府買入れの当面のスケジュール(予定)

入札日	契約締結時期	引渡開始時期
1月21日 (第1回)	令和2年4月末まで	令和2年9月1日
2月13日 (第2回)		

※1 入札公告現在の予定である。

※2 原則として第1回から第3回までの入札においては、都道府県別優先枠及び一般枠を設けることとする
(ただし、当該回の入札で都道府県別優先枠が全て落札された場合はこの限りでない。)
当該回の入札において都道府県別優先枠の買入予定数量を超えて応札された数量については、一般枠
への応札とみなす。

穀粒判別器を活用した備蓄米の政府買入れの試験的实施について

1 趣旨

- (1) 令和2年産備蓄米の政府買入れについては、現行の農産物検査規格の要件（品位等級区分：3等以上）に加え、令和2年産から新型の穀粒判別器が検査現場へ導入されることを踏まえて、測定機器の測定値を活用した独自の新要件による試験的な買入れを行うこととする。
- (2) なお、令和2年産における新要件の実施状況を踏まえて、翌年産に向けて見直すこととする。

2 政府買入数量等

- (1) 新要件による買入数量は、生産者等の売渡しのニーズを把握するための試験的な運用として、買入予定数量のうち500トン程度を上限として設定する。
- (2) なお、「新要件」と「農産物検査規格の要件」を区分せず入札を行うこととし、売渡申込資格者からの売渡申込みに応じて、「新要件」と「農産物検査規格の要件」のいずれかの選択が可能となるような措置を講ずる。

3 政府買入要件等

- (1) 新要件の内容については、令和2年産備蓄米の第1回政府買入入札公告において、周知することとする。
- (2) 新要件による買入れについては、備蓄米としての一定の品質（カビ発生リスクやとう精歩留まり）を確保するため、以下の項目に関して、売渡申込資格者に申告及び品位の測定を義務付けることとする。

なお、穀粒判別器の測定値等に応じた品質格差を設けることはしない。

- ① 令和2年産水稻うち玄米であること
 - ② 産地について、単一の都道府県名が伝達（表示）されたものであること
 - ③ 品種について、単一の品種名（入札公告で定める多収品種を除く。）が伝達（表示）されたものであること
 - ④ 一定のふるい目幅以上で選別されたものであること
 - ⑤ 電気水分計及び穀粒判別器の測定結果により、水分含有率並びに白未熟粒（死米を除いた成熟していない粒であって、乳白粒、心白粒、基部未熟粒、腹白未熟粒及び背白粒の合計）及び被害粒等（死米（青死米及び白死米）、着色粒、胴割粒及び碎粒の合計）の混入割合について、一定の品位のものであること
 - ⑥ その他被害粒（病害粒、発芽粒その他の損傷を受けた粒）並びに異種穀粒及び異物の混入割合について、一定の品位のものであること
 - ⑦ その他必要な要件を設定
- (3) 新要件で使用する測定機器については、政策統括官が別に定めることとし、近日中に改正予定の「農産物検査に関する基本要領」（平成21年5月29日付け21総食第213号総合食料局長通知）で規定する仕様等を満たす電気水分計及び穀粒判別器とする。

政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果（令和2年産）

令和2年産

（単位：トン）

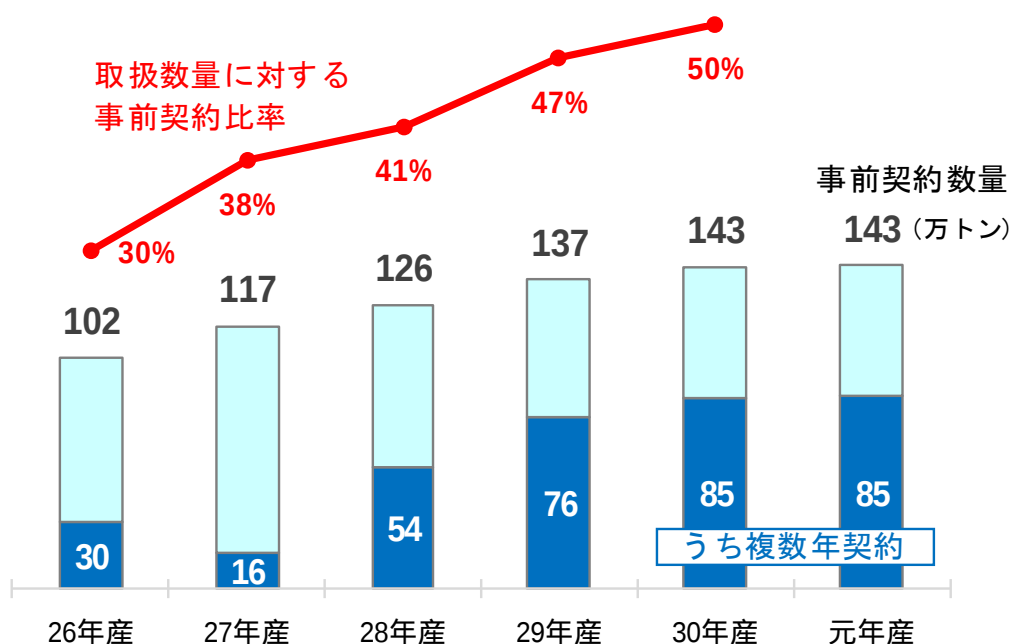
買入対象米穀 の産地	都道府県別 優先枠	買入入札の結果	落札合計数量
		第1回 令和2年1月21日実施	
北海道	2,162	0	0
青森	27,259	6,325	6,325
岩手	3,488	410	410
宮城	11,600	256	256
秋田	21,572	912	912
山形	21,291	2,109	2,109
福島	27,050	1,230	1,230
茨城	1,103	224	224
栃木	7,602	1,512	1,512
群馬	555	0	0
埼玉	463	106	106
千葉	3,985	188	188
東京			
神奈川			
新潟	25,149	107	107
富山	12,197	23	23
石川	7,849	49	49
福井	4,076	0	0
山梨			
長野	1,446	20	20
岐阜	435	10	10
静岡	20	0	0
愛知	846	0	0
三重	270	0	0
滋賀	1,342	28	28
京都			
大阪			
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	400	10	10
島根	130	10	10
岡山	977	188	188
広島	20	0	0
山口			
徳島	1,182	0	0
香川			
愛媛			
高知	10	0	0
福岡	264	0	0
佐賀	220	0	0
長崎	10	0	0
熊本	247	0	0
大分	94	0	0
宮崎			
鹿児島			
沖縄			
都道府県別枠計	185,314	13,717	13,717
指定なし	21,686	1,942	1,942
合 計	207,000	15,659	15,659
うちCPTPP分			7,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	207,000	15,659	7.6%	191,341

2 事前契約の取組状況

- 近年、主食用米では事前契約（複数年契約）の取組が増加しており、30年産は143万トン、取扱数量に対する事前契約比率は50%となっている。
- 元年産は12月末時点で143万トンとなっており、30年産と横ばいの状況。

【近年の事前契約数量の推移】



【業態区分別 事前契約の取組状況（令和元年産、速報値）】

	(万トン)		
	事前契約	複数年契約	単年契約
元年産	143.3 (100%)	85.4 (100%)	57.9 (100%)
全国農業協同組合連合会 経済連及び県単一農協等 全集連・全集連系県集荷組合	134.9 (94%)	81.4 (95%)	53.5 (92%)
単位農協 全集連系業者	8.4 (6%)	3.9 (5%)	4.5 (8%)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

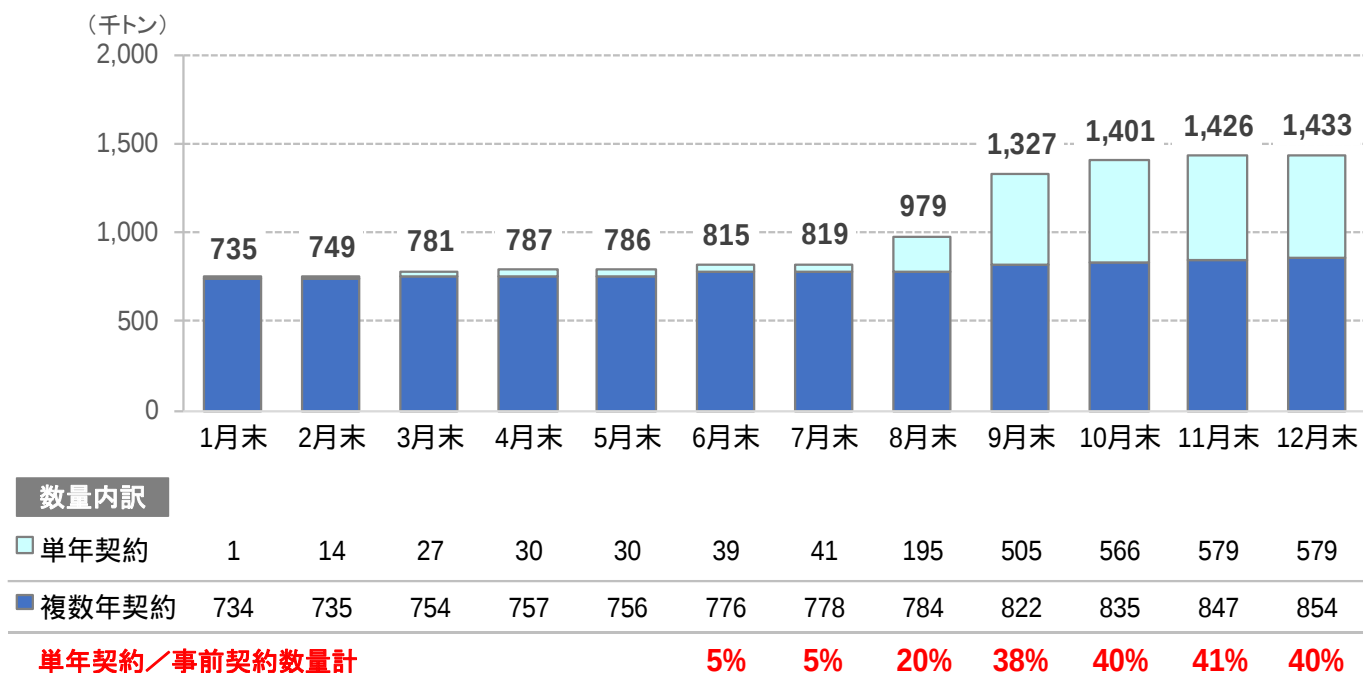
3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：30年産以前は確定値、元年産は元年12月末時点の速報値。

6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

（１）令和元年産における契約月別の事前契約数量の推移（速報）



【都道府県別の取組状況（6月末時点との比較）】

都道府県	6月末時点		12月末時点	
	事前契約数量	うち単年契約	事前契約数量	うち単年契約
北海道	172.2	-	208.5	25.5
青森	10.1	-	56.7	37.2
岩手	82.1	-	88.8	-
宮城	125.9	13.2	126.9	13.2
秋田	95.3	8.9	190.7	89.1
山形	21.0	-	79.6	50.2
福島	43.2	-	45.5	1.1
茨城	-	-	16.2	15.2
栃木	69.6	-	74.0	4.5
群馬	-	-	0.2	0.2
埼玉	0.6	-	7.8	6.9
千葉	8.1	-	12.0	-
東京	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-
長野	31.0	-	35.1	2.6
静岡	0.0	0.0	1.7	1.7
新潟	110.7	-	171.0	63.2
富山	0.7	-	38.6	30.4
石川	1.5	-	21.7	20.2
福井	9.3	-	9.1	-
岐阜	-	-	15.0	12.4
愛知	1.5	-	13.0	11.3
三重	-	-	20.0	20.0
滋賀	7.7	-	34.9	18.8
京都	-	-	6.8	6.8
大阪	-	-	-	-
兵庫	13.0	13.0	13.0	13.0
奈良	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-
鳥取	4.1	4.1	4.1	4.1
島根	2.4	-	34.0	30.8
岡山	-	-	-	-
広島	-	-	24.7	24.7
山口	0.6	-	22.4	21.7
徳島	-	-	2.2	2.2
香川	3.3	-	15.8	10.1
愛媛	-	-	3.3	3.3
高知	-	-	2.1	2.1
福岡	0.6	-	33.3	32.6
佐賀	-	-	-	-
長崎	-	-	-	-
熊本	-	-	-	-
大分	-	-	4.0	4.0
宮崎	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-
全国	815	39	1,433	579

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

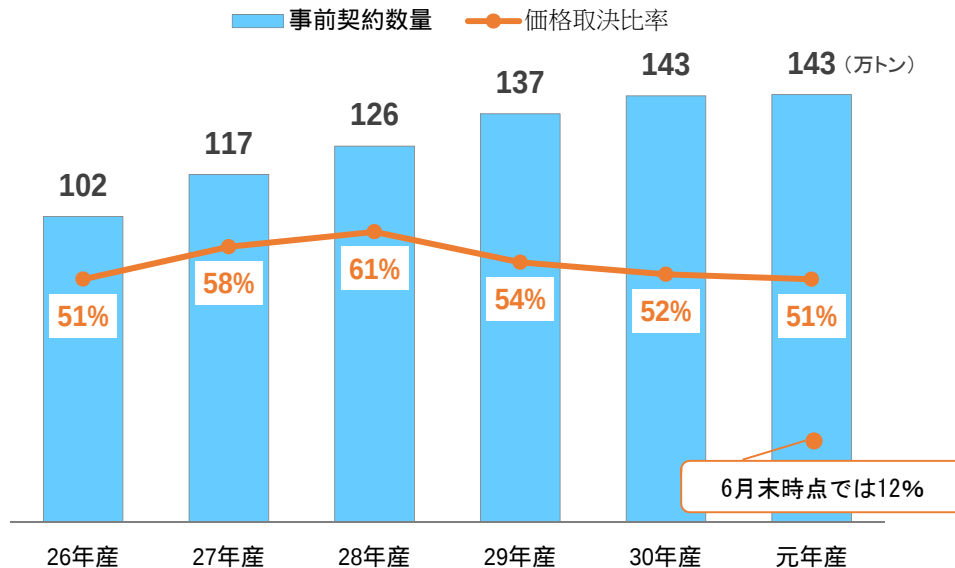
3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 事前契約数量と価格取決比率の推移

- 事前契約における価格取決数量について、元年産は12月末時点で契約数量の51%（対前年▲1%）、6月末時点では12%となっている。



注1:「価格取決数量」は、基準価格の±10%の範囲内の一定の幅を設けた価格取り決めを含む。

2:「価格取決比率」は、各年産の事前契約数量(30年産以前は確定値、元年産は速報値)を生産年の12月末時点の価格取決数量で除した値である。

【年産別 事前契約に占める価格取決比率】

(千トン、%)

都道府県	30年産 ①	価格取 決比率	元年産 ②	価格取 決比率	前年差 ②-①	価格取 決比率
北海道	174.6	53%	208.5	54%	+ 33.9	+ 2%
青森	52.4	27%	56.7	37%	+ 4.3	+ 10%
岩手	92.2	66%	88.8	100%	▲ 3.4	+ 34%
宮城	117.6	44%	126.9	46%	+ 9.3	+ 2%
秋田	182.4	31%	190.7	36%	+ 8.3	+ 5%
山形	70.8	56%	79.6	46%	+ 8.8	▲10%
福島	49.5	21%	45.5	33%	▲ 4.0	+ 12%
茨城	16.0	81%	16.2	44%	+ 0.2	▲37%
栃木	73.1	17%	74.0	42%	+ 0.9	+ 25%
群馬	0.1	100%	0.2	100%	+ 0.1	±0%
埼玉	9.2	50%	7.8	53%	▲ 1.4	+ 3%
千葉	10.3	94%	12.0	95%	+ 1.7	+ 1%
東京	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-
長野	32.5	81%	35.1	68%	+ 2.6	▲13%
静岡	1.9	84%	1.7	59%	▲ 0.2	▲25%
新潟	156.2	77%	171.0	49%	+ 14.8	▲28%
富山	48.9	66%	38.6	73%	▲ 10.3	+ 6%
石川	23.3	30%	21.7	40%	▲ 1.6	+ 10%
福井	8.3	31%	9.1	22%	+ 0.8	▲9%
岐阜	9.2	29%	15.0	33%	+ 5.8	+ 4%
愛知	15.1	100%	13.0	100%	▲ 2.1	±0%
三重	19.8	65%	20.0	31%	+ 0.2	▲34%

都道府県	30年産 ①	価格取 決比率	元年産 ②	価格取 決比率	前年差 ②-①	価格取 決比率
滋賀	40.0	51%	34.9	60%	▲ 5.1	+ 8%
京都	7.1	90%	6.8	69%	▲ 0.3	▲21%
大阪	-	-	-	-	-	-
兵庫	12.5	100%	13.0	100%	+ 0.5	±0%
奈良	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-
鳥取	5.7	58%	4.1	68%	▲ 1.6	+ 10%
島根	34.2	80%	34.0	63%	▲ 0.2	▲17%
岡山	0.5	0%	-	-	▲ 0.5	-
広島	18.8	47%	24.7	17%	+ 5.9	▲31%
山口	27.1	33%	22.4	36%	▲ 4.7	+ 3%
徳島	-	-	2.2	59%	+ 2.2	-
香川	16.4	78%	15.8	63%	▲ 0.6	▲15%
愛媛	4.2	29%	3.3	100%	▲ 0.9	+ 71%
高知	2.0	100%	2.1	100%	+ 0.1	±0%
福岡	33.0	31%	33.3	29%	+ 0.3	▲2%
佐賀	26.2	98%	-	-	▲ 26.2	-
長崎	7.0	34%	-	-	▲ 7.0	-
熊本	17.1	26%	-	-	▲ 17.1	-
大分	5.3	45%	4.0	33%	▲ 1.3	▲13%
宮崎	8.2	104%	-	-	▲ 8.2	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-
全国	1,429	52%	1,433	51%	+ 4.0	▲1%

注1:30年産の価格取決比率は、①30年産の事前契約数量(確定値)を30年12月末時点の価格取決数量で除した値である。12月末以降に契約変更等が生じた産地では、価格取決比率が100%を超える場合がある。

2:元年産の価格取決比率は、②元年産の事前契約数量(元年12月末時点)を元年12月末時点の価格取決数量で除した値である。

3:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

【平成30・令和元年産における事前契約の状況】

令和元年産米の事前契約比率（集荷数量に対する事前契約数量の比率）等については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

単位：千玄米トン

都道府県	平成30年産					令和元年産(速報値)	
	集荷数量 ④	事前契約数量 ⑤	事前契約比率 ⑤/④	うち複数年契約 ⑥	複数年契約比率 ⑥/④	集荷数量	事前契約数量
北海道	311.1	174.6	56%	173.3	56%	302.1	208.5
青森	149.7	52.4	35%	37.2	25%	148.3	56.7
岩手	129.6	92.2	71%	82.4	64%	133.3	88.8
宮城	171.2	117.6	69%	103.3	60%	139.7	126.9
秋田	251.6	182.4	73%	85.4	34%	265.5	190.7
山形	188.6	70.8	38%	21.2	11%	181.6	79.6
福島	159.0	49.5	31%	41.8	26%	155.6	45.5
茨城	71.8	16.0	22%	2.5	3%	61.4	16.2
栃木	136.4	73.1	54%	71.1	52%	125.6	74.0
群馬	25.0	0.1	0%	-	-	16.2	0.2
埼玉	18.4	9.2	50%	0.6	3%	16.6	7.8
千葉	79.6	10.3	13%	10.3	13%	59.1	12.0
東京	0.0	-	-	-	-	0.0	-
神奈川	2.3	-	-	-	-	1.8	-
山梨	6.0	-	-	-	-	5.8	-
長野	67.2	32.5	48%	31.8	47%	68.9	35.1
静岡	6.0	1.9	32%	-	-	8.7	1.7
新潟	260.5	156.2	60%	124.2	48%	281.8	171.0
富山	91.9	48.9	53%	8.2	9%	87.8	38.6
石川	27.2	23.3	86%	1.5	6%	24.6	21.7
福井	70.0	8.3	12%	8.3	12%	63.7	9.1
岐阜	20.3	9.2	45%	2.6	13%	19.8	15.0
愛知	31.9	15.1	47%	1.5	5%	28.8	13.0
三重	28.7	19.8	69%	-	-	24.6	20.0
滋賀	56.8	40.0	70%	36.5	64%	43.5	34.9
京都	9.4	7.1	76%	-	-	7.9	6.8
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	40.1	12.5	31%	-	-	40.2	13.0
奈良	7.9	-	-	-	-	8.4	-
和歌山	0.9	-	-	-	-	0.9	-
鳥取	22.5	5.7	25%	-	-	22.9	4.1
島根	38.1	34.2	90%	3.2	8%	32.8	34.0
岡山	22.7	0.5	2%	-	-	11.6	-
広島	32.5	18.8	58%	1.5	5%	28.3	24.7
山口	40.2	27.1	67%	0.8	2%	31.1	22.4
徳島	4.9	-	-	-	-	5.6	2.2
香川	21.8	16.4	75%	-	-	18.8	15.8
愛媛	10.1	4.2	41%	-	-	7.8	3.3
高知	8.4	2.0	23%	-	-	9.3	2.1
福岡	53.1	33.0	62%	0.6	1%	36.1	33.3
佐賀	42.0	26.2	62%	-	-	25.2	-
長崎	11.6	7.0	61%	-	-	8.0	-
熊本	38.1	17.1	45%	-	-	26.4	-
大分	12.0	5.3	44%	-	-	8.6	4.0
宮崎	14.8	8.2	55%	-	-	11.8	-
鹿児島	13.0	-	-	-	-	7.9	-
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.4	-
全 国	2,863	1,429	50%	850	30%	2,650	1,433

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2：報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3：令和元年産は令和元年12月末時点の数量である。

4：集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5：事前契約分とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。

7：「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

3 令和元年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和元年12月末現在) (速報)

令和元年産米の「契約比率」及び「販売比率」(集荷数量に対する進捗状況)については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考: 前年同月比 (平成30年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(千玄米ト)	(千玄米ト)	(千玄米ト)			
北海道	302.1	254.7	90.6	109%	114%	122%
ななつぼし	143.8	124.5	39.9	115%	109%	118%
ゆめびりか	75.9	63.0	23.5	105%	122%	177%
きらら397	36.3	26.5	5.4	114%	134%	151%
青森	148.3	90.9	21.7	134%	117%	102%
まっしぐら	105.5	59.0	13.4	141%	128%	113%
つがるロマン	33.4	23.8	4.4	122%	105%	89%
岩手	133.3	94.9	16.7	102%	96%	92%
ひとめぼれ	102.2	69.7	11.8	100%	95%	89%
あきたこまち	14.2	12.8	1.7	109%	101%	95%
銀河のしずく	6.9	5.5	1.6	...	...	...
宮城	139.7	142.2	24.4	109%	105%	76%
ひとめぼれ	105.4	115.1	16.2	104%	101%	67%
つや姫	11.5	10.2	2.3	113%	118%	84%
ササニシキ	7.8	6.8	1.8	108%	99%	84%
秋田	265.5	220.9	52.2	112%	103%	107%
あきたこまち	215.2	186.3	45.9	113%	102%	107%
めんこいな	13.3	9.7	1.7	91%	92%	105%
ひとめぼれ	21.0	15.4	2.2	114%	98%	106%
山形	181.6	109.8	34.2	133%	97%	95%
はえぬき	102.3	56.2	14.3	135%	90%	93%
つや姫	37.1	25.8	10.4	127%	103%	101%
ひとめぼれ	14.5	10.0	3.8	118%	104%	90%
福島	155.6	77.2	17.7	115%	110%	107%
コシヒカリ中通り	43.5	15.3	4.5	101%	131%	89%
コシヒカリ会津	40.2	29.3	3.0	124%	93%	88%
コシヒカリ浜通り	6.7	5.6	0.7	108%	128%	165%
ひとめぼれ	28.4	10.6	2.5	107%	87%	80%
天のつぶ	22.4	9.9	3.0	142%	228%	241%
茨城	61.4	39.4	18.4	96%	97%	92%
コシヒカリ	44.8	28.2	9.6	95%	97%	85%
あきたこまち	9.1	7.7	7.4	97%	103%	100%
あさひの夢	1.1	0.1	0.1	...	...	...
栃木	125.6	82.1	18.9	93%	96%	100%
コシヒカリ	93.3	67.6	14.0	88%	90%	93%
あさひの夢	8.8	3.9	0.9	93%	109%	74%
とちぎの星	13.2	5.5	2.1	...	...	...
群馬	16.2	2.0	1.0	73%	28%	96%
あさひの夢	11.0	0.9	0.4	73%	18%	423%
ゆめまつり	3.1	0.8	0.4	66%	76%	113%
埼玉	16.6	11.0	3.5	93%	82%	109%
彩のかがやき	7.5	5.4	1.3	88%	71%	78%
コシヒカリ	3.7	2.3	0.7	80%	62%	76%
彩のきずな	3.9	2.6	1.0	120%	187%	358%
千葉	59.1	54.3	35.4	81%	99%	105%
コシヒカリ	26.8	25.8	13.3	79%	105%	103%
ふさこがね	14.3	13.3	9.3	88%	112%	141%
ふさおとめ	14.3	11.9	10.4	82%	81%	93%
東京	0.0	0.0	0.0	50%	50%	50%
神奈川	1.8	0.6	0.6	78%	80%	80%
山梨	5.8	1.0	1.0	101%	77%	77%
コシヒカリ	5.1	0.9	0.9	102%	79%	79%
長野	68.9	41.3	11.5	105%	93%	91%
コシヒカリ	54.4	32.9	8.8	104%	93%	93%
あきたこまち	7.5	4.0	1.0	101%	87%	83%
静岡	8.7	2.8	2.1	103%	117%	103%
コシヒカリ	5.8	1.9	1.4	102%	122%	100%
きぬむすめ	1.2	0.3	0.3	107%	186%	186%
あいちのかおり	0.8	0.2	0.2	96%	66%	66%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

(新潟から広島まで)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考：前年同月比 (平成30年度の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(千玄米ト)	(千玄米ト)	(千玄米ト)			
新 潟	281.8	238.7	73.2	113%	110%	94%
コシヒカリ一般	132.7	118.9	34.8	110%	107%	85%
コシヒカリ魚沼	32.8	19.0	10.0	120%	110%	103%
コシヒカリ佐渡	14.4	11.6	4.1	121%	100%	96%
コシヒカリ岩船	12.6	9.5	3.0	122%	85%	95%
こしいぶき	47.0	42.6	10.7	105%	121%	114%
富 山	87.8	51.0	23.7	100%	82%	91%
コシヒカリ	63.0	38.6	18.5	94%	80%	92%
てんたかく	9.3	5.8	2.7	113%	101%	82%
石 川	24.6	23.0	5.7	92%	97%	116%
コシヒカリ	13.2	13.4	2.7	79%	87%	135%
ゆめみづほ	4.3	3.9	1.1	82%	93%	80%
福 井	63.7	55.6	23.5	98%	106%	98%
コシヒカリ	25.7	19.4	8.0	90%	98%	91%
ハナエチゼン	18.8	18.1	10.9	98%	107%	109%
あきさかり	6.8	5.5	1.3	...	...	...
岐 阜	19.8	17.8	5.0	114%	126%	87%
ハツシモ	9.5	8.1	1.4	145%	109%	80%
コシヒカリ	5.8	4.1	1.4	97%	131%	97%
あさひの夢	0.5	0.4	0.1	...	...	...
愛 知	28.8	27.1	8.5	95%	89%	92%
あいちのかおり	15.4	15.9	3.4	96%	92%	90%
コシヒカリ	9.1	8.0	3.5	98%	88%	97%
大地の風	1.1	1.4	0.3	90%	105%	90%
三 重	24.6	22.0	6.4	90%	99%	86%
コシヒカリ一般	12.8	13.0	3.0	86%	99%	73%
コシヒカリ伊賀	6.3	4.4	1.8	100%	95%	136%
キヌヒカリ	1.8	1.1	0.1	84%	99%	34%
滋 賀	43.5	39.4	14.4	93%	72%	85%
コシヒカリ	15.6	16.0	5.7	89%	76%	79%
キヌヒカリ	7.2	6.7	2.3	87%	66%	83%
みずかがみ	9.0	7.3	3.2	...	...	...
京 都	7.9	7.7	2.3	87%	79%	89%
コシヒカリ	4.7	4.7	1.5	89%	74%	93%
キヌヒカリ	1.6	1.8	0.4	75%	78%	55%
ヒノヒカリ	0.9	0.3	0.3	98%	37%	211%
大 阪	-	-	-	...	...	...
兵 庫	40.2	35.7	12.2	102%	124%	96%
コシヒカリ	10.6	11.0	3.5	97%	147%	106%
ヒノヒカリ	3.5	2.7	0.6	85%	105%	82%
キヌヒカリ	2.8	2.4	0.8	91%	144%	110%
奈 良	8.4	1.4	1.4	107%	76%	76%
ヒノヒカリ	6.7	1.0	1.0	110%	78%	78%
和歌山	0.9	0.9	0.2	94%	94%	96%
鳥 取	22.9	16.4	6.6	103%	101%	118%
きぬむすめ	8.2	6.1	1.9	98%	108%	128%
コシヒカリ	7.2	5.4	2.0	95%	93%	94%
ひとめぼれ	5.5	4.3	2.4	94%	94%	124%
島 根	32.8	34.1	8.9	93%	96%	98%
コシヒカリ	13.0	14.5	4.1	85%	95%	93%
きぬむすめ	13.3	13.2	2.5	102%	101%	109%
つや姫	4.2	4.3	1.3	95%	95%	116%
岡 山	11.6	12.3	4.2	103%	99%	91%
アケボノ	1.5	2.0	0.4	238%	135%	130%
あきたこまち	0.9	0.9	0.5	85%	80%	85%
ヒノヒカリ	1.3	1.4	0.2	77%	84%	60%
広 島	28.3	34.0	7.5	88%	105%	77%
コシヒカリ	11.6	15.8	3.4	84%	115%	76%
あきさかり	6.2	7.1	1.0	107%	139%	77%
あきろまん	2.4	3.4	0.5	79%	115%	73%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

(山口から沖縄まで、全国計)

	集荷数量	契約数量	販売数量	参考：前年同月比 (平成30年産の同時期との比較)		
				集荷数量	契約数量	販売数量
	(千玄米ト)	(千玄米ト)	(千玄米ト)			
山 口	31.1	24.5	6.9	103%	99%	127%
コシヒカリ	8.7	7.8	2.5	104%	103%	128%
ひとめぼれ	7.7	5.8	2.0	108%	102%	142%
ヒノヒカリ	6.5	4.7	1.0	114%	96%	128%
徳 島	5.6	3.3	1.8	115%	134%	99%
コシヒカリ	2.6	2.1	1.1	112%	149%	90%
キヌヒカリ	0.8	0.3	0.2	60%	63%	60%
香 川	18.8	15.8	4.2	92%	91%	90%
コシヒカリ	6.4	5.8	2.0	88%	84%	100%
ヒノヒカリ	5.7	4.9	0.9	90%	84%	70%
おいでまい	3.8	3.3	0.7	92%	95%	92%
愛 媛	7.8	6.0	3.6	85%	79%	98%
コシヒカリ	3.2	3.1	1.6	85%	98%	102%
ヒノヒカリ	1.3	0.6	0.4	82%	75%	86%
あきたこまち	0.8	0.8	0.5	63%	98%	101%
高 知	9.3	6.6	6.6	152%	108%	108%
コシヒカリ	6.3	4.9	4.9	131%	101%	101%
ヒノヒカリ	1.1	0.5	0.5	499%	222%	222%
福 岡	36.1	39.7	11.1	84%	98%	88%
夢つくし	12.6	13.1	4.8	83%	101%	102%
ヒノヒカリ	9.7	10.7	2.1	88%	94%	55%
元氣つくし	10.8	14.4	3.8	78%	99%	103%
佐 賀	25.2	7.5	6.1	69%	25%	67%
夢しずく	9.7	3.0	2.7	72%	29%	82%
さがびより	5.8	0.7	0.4	63%	7%	23%
ヒノヒカリ	6.0	1.1	1.0	68%	16%	66%
長 崎	8.0	8.6	2.1	81%	114%	78%
にこまる	2.9	3.6	0.5	79%	115%	83%
ヒノヒカリ	2.2	2.2	0.5	70%	93%	80%
コシヒカリ	1.2	1.2	0.5	85%	113%	75%
熊 本	26.4	7.8	7.8	91%	38%	88%
ヒノヒカリ	10.8	1.7	1.7	86%	27%	59%
森のくまさん	3.9	0.9	0.9	101%	17%	117%
コシヒカリ	5.8	3.6	3.6	103%	63%	115%
大 分	8.6	7.3	1.9	75%	94%	85%
ヒノヒカリ	5.5	4.6	0.9	70%	91%	82%
ひとめぼれ	0.7	0.5	0.2	87%	132%	134%
つや姫	1.5	1.6	0.5	…	…	…
宮 崎	11.8	11.8	8.1	85%	110%	78%
コシヒカリ	6.6	6.6	6.5	77%	77%	77%
ヒノヒカリ	4.5	4.5	1.1	99%	309%	79%
鹿児島	7.9	7.9	7.2	83%	83%	89%
ヒノヒカリ	2.0	2.0	1.4	61%	61%	75%
あきほなみ	0.5	0.5	0.3	64%	64%	53%
コシヒカリ	3.5	3.5	3.5	100%	100%	100%
沖 縄	1.4	1.4	1.2	90%	90%	91%
全 国 ①	2,650	2,016	649	105%	100%	97%
前年同月(平成30年産)②	2,525	2,017	669			
前年同月差(①-②)	+125	▲ 1	▲ 20			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当しないものである。

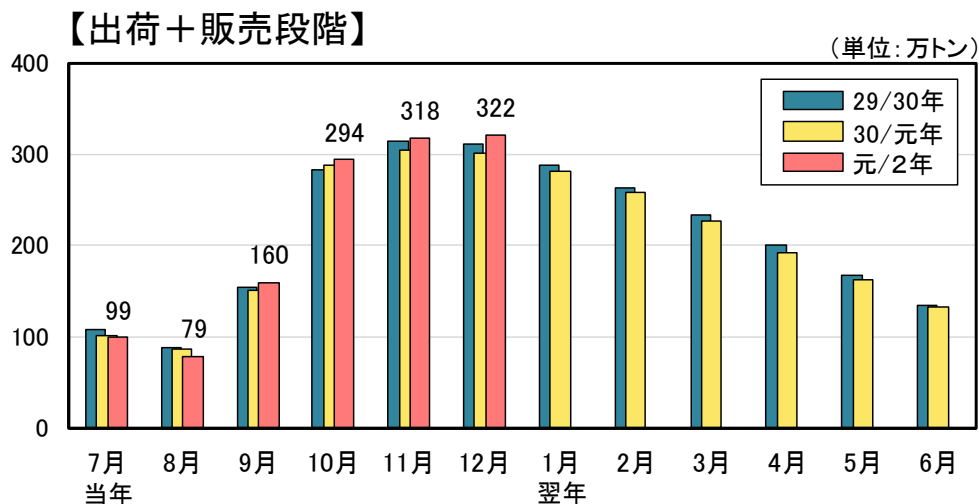
9 「参考：前年同月比」で、令和元年産又は平成30年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

Ⅱ 米の在庫情報

(1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米) (速報)

- 令和元年12月末の出荷及び販売段階における在庫は、対前年同月比+21万トンの322万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、15頁以降を参照。



(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注1) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	160	294	318	322						
対前年差	▲3	▲9	+9	+6	+13	+21						
元年産米	0	10	115	255	285	298						
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16						

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、

出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、元/2年であれば、元年7月～2年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない。それ以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。

7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	260	265						
対前年差	▲2	▲8	+7	+3	+8	+17						
元年産米	0	7	100	223	249	258						
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6						

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57						
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4						
元年産米	0	3	16	32	37	40						
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10						

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同月比）

令和元年産（令和元年12月末）

【出荷＋販売段階】

（単位：千トン）

産 地	元年産 (R1.12末)	30年産 (H30.12末)	前年 同月比
北海道	301.8	291.6	103%
青 森	187.2	117.6	159%
岩 手	142.9	137.1	104%
宮 城	145.6	134.7	108%
秋 田	268.0	243.1	110%
山 形	187.5	149.5	125%
福 島	216.4	164.0	132%
茨 城	110.0	108.7	101%
栃 木	144.3	154.4	93%
群 馬	23.4	28.3	83%
埼 玉	29.5	29.8	99%
千 葉	77.7	88.0	88%
東 京	0.0	0.0	-
神奈川	1.5	1.7	93%
新 潟	272.9	236.4	115%
富 山	82.5	79.5	104%
石 川	50.1	54.5	92%
福 井	63.4	60.9	104%
山 梨	5.3	5.1	104%
長 野	70.3	66.2	106%
岐 阜	25.1	16.7	150%
静 岡	18.0	15.4	117%
愛 知	30.5	32.0	95%
三 重	39.9	38.7	103%

産 地	元年産 (R1.12末)	30年産 (H30.12末)	前年 同月比
滋 賀	58.3	66.1	88%
京 都	10.7	10.8	99%
大 阪	1.8	1.9	94%
兵 庫	45.1	41.8	108%
奈 良	8.2	7.2	114%
和歌山	1.0	1.0	93%
鳥 取	26.4	26.7	99%
島 根	26.2	28.8	91%
岡 山	43.2	37.4	116%
広 島	31.7	33.5	95%
山 口	28.7	29.6	97%
徳 島	10.2	9.8	104%
香 川	15.4	16.4	94%
愛 媛	9.9	11.3	88%
高 知	6.4	7.6	85%
福 岡	46.7	55.3	84%
佐 賀	21.9	31.2	70%
長 崎	8.0	9.6	84%
熊 本	42.5	44.7	95%
大 分	14.3	17.7	81%
宮 崎	12.4	11.7	106%
鹿児島	16.3	17.2	95%
沖 縄	0.3	0.2	124%
全国計	2,980	2,772	107%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

注2：出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

注3：販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(3) 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	108.9	75.3	110.8	266.2	311.3	323.3						
	元 年 産 米			64.9	229.5	282.8	301.8						
	1年古米（30年産）	102.5	70.0	41.9	33.9	26.2	19.8						
	出荷段階	78.7	48.8	79.0	191.7	237.8	250.7						
	元 年 産 米			52.5	178.3	228.2	242.9						
	1年古米（30年産）	77.8	48.1	25.9	13.0	9.3	7.7						
	販売段階	30.3	26.5	31.8	74.5	73.5	72.6						
	元 年 産 米			12.4	51.2	54.6	58.9						
	1年古米（30年産）	24.6	21.9	16.0	20.9	17.0	12.2						
青森	出荷＋販売段階	59.5	43.1	68.6	139.2	161.1	198.5						
	元 年 産 米			39.2	118.5	145.5	187.2						
	1年古米（30年産）	58.4	42.3	28.9	20.3	15.2	11.1						
	出荷段階	42.6	29.4	57.9	118.8	140.3	179.6						
	元 年 産 米			38.0	107.4	132.2	173.3						
	1年古米（30年産）	42.6	29.4	19.9	11.4	8.0	6.3						
	販売段階	16.9	13.7	10.7	20.4	20.8	18.9						
	元 年 産 米			1.2	11.1	13.3	13.9						
	1年古米（30年産）	15.8	12.9	9.0	8.9	7.2	4.8						
岩手	出荷＋販売段階	43.8	29.3	27.5	119.4	138.6	151.8						
	元 年 産 米			8.3	102.0	126.6	142.9						
	1年古米（30年産）	42.5	28.3	18.5	16.9	11.9	8.9						
	出荷段階	35.7	22.4	20.2	103.2	121.1	134.2						
	元 年 産 米			7.6	95.3	116.2	130.6						
	1年古米（30年産）	35.1	21.9	12.2	7.6	4.9	3.5						
	販売段階	8.1	6.9	7.3	16.2	17.5	17.7						
	元 年 産 米			0.7	6.7	10.3	12.2						
	1年古米（30年産）	7.4	6.4	6.3	9.3	7.1	5.4						
宮城	出荷＋販売段階	69.2	49.9	69.2	158.9	153.6	154.5						
	元 年 産 米		0.0	36.2	131.4	137.8	145.6						
	1年古米（30年産）	67.1	48.6	32.1	26.7	15.2	8.4						
	出荷段階	54.8	36.7	56.4	132.1	129.9	132.1						
	元 年 産 米			34.2	120.5	124.6	130.0						
	1年古米（30年産）	54.2	36.7	22.2	11.6	5.3	2.1						
	販売段階	14.5	13.2	12.8	26.8	23.7	22.3						
	元 年 産 米		0.0	2.0	10.9	13.2	15.6						
	1年古米（30年産）	12.9	12.0	9.8	15.1	9.9	6.3						
秋田	出荷＋販売段階	66.1	41.2	117.2	279.8	284.3	274.9						
	元 年 産 米			95.0	261.8	270.9	268.0						
	1年古米（30年産）	64.4	40.1	21.4	17.5	13.1	6.7						
	出荷段階	52.6	30.0	107.1	256.2	258.6	246.9						
	元 年 産 米			92.0	247.0	252.4	244.3						
	1年古米（30年産）	52.2	29.7	14.9	9.1	6.2	2.6						
	販売段階	13.4	11.2	10.1	23.6	25.7	28.1						
	元 年 産 米			3.0	14.8	18.6	23.7						
	1年古米（30年産）	12.2	10.4	6.5	8.4	6.9	4.1						

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	53.7	40.4	59.0	176.6	190.3	195.7						
	元 年 産 米		0.0	34.9	157.9	177.4	187.5						
	1年古米(30年産)	51.1	38.4	22.6	17.5	11.9	7.5						
	出荷段階	42.5	29.0	47.8	156.3	171.0	176.2						
	元 年 産 米			34.1	148.4	165.8	173.1						
	1年古米(30年産)	41.8	28.5	13.3	7.6	4.9	3.0						
	販売段階	11.2	11.4	11.2	20.3	19.3	19.5						
	元 年 産 米		0.0	0.8	9.5	11.6	14.4						
	1年古米(30年産)	9.3	9.9	9.3	9.9	7.0	4.5						
福島	出荷＋販売段階	79.0	56.0	56.6	212.1	235.4	234.3						
	元 年 産 米		0.0	17.3	167.5	200.0	216.4						
	1年古米(30年産)	76.5	54.4	38.2	43.8	34.7	17.3						
	出荷段階	60.1	41.1	44.8	173.4	194.2	198.6						
	元 年 産 米		0.0	16.4	153.3	178.6	191.7						
	1年古米(30年産)	59.3	40.8	28.2	19.9	15.4	6.8						
	販売段階	18.9	14.8	11.8	38.7	41.3	35.7						
	元 年 産 米		0.0	0.9	14.1	21.4	24.7						
	1年古米(30年産)	17.3	13.6	10.0	23.9	19.3	10.5						
茨城	出荷＋販売段階	29.8	33.6	107.8	127.3	121.0	115.3						
	元 年 産 米		14.6	94.5	117.2	113.9	110.0						
	1年古米(30年産)	28.2	17.7	12.3	9.2	6.4	4.7						
	出荷段階	16.5	19.0	73.3	88.0	84.4	81.3						
	元 年 産 米		9.4	68.4	85.0	82.6	80.1						
	1年古米(30年産)	16.3	9.4	4.8	2.9	1.7	1.1						
	販売段階	13.3	14.6	34.5	39.3	36.7	34.0						
	元 年 産 米		5.3	26.1	32.2	31.3	29.8						
	1年古米(30年産)	12.0	8.2	7.5	6.4	4.7	3.6						
栃木	出荷＋販売段階	65.5	47.0	102.5	146.3	157.9	153.2						
	元 年 産 米		0.0	69.8	118.2	140.9	144.3						
	1年古米(30年産)	64.3	46.3	32.2	27.8	16.7	8.8						
	出荷段階	49.6	34.3	86.6	113.5	127.7	126.4						
	元 年 産 米		0.0	63.3	104.0	123.3	125.0						
	1年古米(30年産)	49.5	34.3	23.3	9.5	4.3	1.4						
	販売段階	15.9	12.7	15.8	32.9	30.2	26.8						
	元 年 産 米			6.5	14.2	17.6	19.3						
	1年古米(30年産)	14.8	12.0	8.9	18.3	12.4	7.4						
群馬	出荷＋販売段階	10.9	7.9	5.5	7.4	16.5	24.9						
	元 年 産 米		0.0	0.4	4.4	14.4	23.4						
	1年古米(30年産)	10.7	7.8	5.1	3.0	2.1	1.5						
	出荷段階	8.6	5.6	3.7	4.5	13.4	22.0						
	元 年 産 米			0.3	4.1	13.3	22.0						
	1年古米(30年産)	8.6	5.6	3.4	0.3	0.2	0.0						
	販売段階	2.3	2.3	1.8	3.0	3.1	2.9						
	元 年 産 米		0.0	0.1	0.3	1.1	1.4						
	1年古米(30年産)	2.0	2.1	1.7	2.7	2.0	1.4						
埼玉	出荷＋販売段階	10.3	7.8	15.2	24.0	30.0	30.9						
	元 年 産 米		0.6	9.3	20.2	27.6	29.5						
	1年古米(30年産)	9.8	6.8	5.7	3.7	2.3	1.3						
	出荷段階	7.3	4.8	9.4	16.5	22.3	23.8						
	元 年 産 米		0.3	7.2	15.2	21.6	23.3						
	1年古米(30年産)	7.2	4.5	2.3	1.3	0.8	0.5						
	販売段階	3.0	3.0	5.7	7.5	7.6	7.2						
	元 年 産 米		0.3	2.1	4.9	6.0	6.2						
	1年古米(30年産)	2.6	2.3	3.4	2.4	1.5	0.9						

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	19.3	46.0	97.2	96.7	89.2	84.3						
	元 年 産 米		33.6	86.8	87.9	81.7	77.7						
	1年古米(30年産)	19.0	12.2	10.3	8.7	7.4	6.6						
	出荷段階	9.5	35.4	79.5	78.6	72.2	64.7						
	元 年 産 米		29.3	73.7	72.9	66.8	59.5						
	1年古米(30年産)	9.5	6.1	5.7	5.7	5.4	5.2						
	販売段階	9.8	10.6	17.8	18.1	17.0	19.7						
	元 年 産 米		4.3	13.1	15.0	14.8	18.2						
	1年古米(30年産)	9.5	6.1	4.5	3.0	2.1	1.4						
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.0						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階												
	元 年 産 米												
	1年古米(30年産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.0						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
神奈川	出荷＋販売段階	0.4	0.3	0.4	1.9	1.7	1.6						
	元 年 産 米			0.2	1.8	1.7	1.5						
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	1.9	1.6	1.5						
	元 年 産 米			0.2	1.8	1.6	1.5						
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1						
	元 年 産 米			0.0	0.0	0.1	0.1						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
山梨	出荷＋販売段階	1.9	1.4	1.9	4.3	4.7	5.6						
	元 年 産 米			1.0	3.6	4.1	5.3						
	1年古米(30年産)	1.8	1.3	0.9	0.7	0.6	0.3						
	出荷段階	1.6	1.1	1.6	3.9	4.2	5.0						
	元 年 産 米			1.0	3.5	3.8	4.9						
	1年古米(30年産)	1.5	1.1	0.7	0.4	0.4	0.1						
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6						
	元 年 産 米			0.0	0.1	0.3	0.4						
	1年古米(30年産)	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2						
長野	出荷＋販売段階	22.4	16.6	26.4	61.1	76.1	74.7						
	元 年 産 米			15.7	51.9	69.4	70.3						
	1年古米(30年産)	21.9	16.2	10.4	9.0	6.5	4.3						
	出荷段階	18.4	13.0	23.0	52.9	67.8	66.6						
	元 年 産 米			15.0	48.8	64.8	64.6						
	1年古米(30年産)	18.3	12.9	7.9	4.1	2.9	2.0						
	販売段階	4.0	3.6	3.4	8.3	8.3	8.2						
	元 年 産 米			0.7	3.2	4.6	5.7						
	1年古米(30年産)	3.6	3.3	2.5	4.9	3.5	2.4						
静岡	出荷＋販売段階	2.0	3.8	15.9	19.2	19.4	18.2						
	元 年 産 米		2.8	15.4	18.9	19.2	18.0						
	1年古米(30年産)	1.9	0.9	0.5	0.3	0.2	0.2						
	出荷段階	0.5	1.5	9.6	12.4	12.9	12.2						
	元 年 産 米		1.4	9.5	12.3	12.9	12.2						
	1年古米(30年産)	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.5	2.4	6.3	6.8	6.5	6.0						
	元 年 産 米		1.5	5.8	6.6	6.3	5.8						
	1年古米(30年産)	1.5	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2						

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	58.9	35.1	214.1	309.4	306.2	281.1						
	元 年 産 米		0.5	194.1	293.3	294.1	272.9						
	1年古米(30年産)	57.9	33.7	19.4	15.8	11.8	8.0						
	出荷段階	45.2	23.3	194.0	276.1	273.0	244.7						
	元 年 産 米		0.4	180.5	268.8	268.8	242.3						
	1年古米(30年産)	44.9	22.6	13.3	7.2	4.1	2.4						
	販売段階	13.7	11.7	20.1	33.4	33.2	36.4						
	元 年 産 米		0.1	13.6	24.4	25.3	30.6						
	1年古米(30年産)	13.0	11.0	6.0	8.6	7.7	5.6						
富山	出荷＋販売段階	21.7	14.6	65.4	91.3	90.8	84.6						
	元 年 産 米		1.0	56.6	86.3	87.5	82.5						
	1年古米(30年産)	21.4	13.4	8.8	4.9	3.2	2.1						
	出荷段階	15.8	9.2	57.2	80.1	81.1	74.7						
	元 年 産 米		0.5	52.3	79.9	80.9	74.6						
	1年古米(30年産)	15.8	8.7	4.8	0.2	0.1	0.1						
	販売段階	5.9	5.4	8.3	11.2	9.8	9.9						
	元 年 産 米		0.5	4.2	6.4	6.6	7.9						
	1年古米(30年産)	5.7	4.8	3.9	4.7	3.1	2.0						
石川	出荷＋販売段階	17.1	13.5	53.8	63.7	58.2	52.3						
	元 年 産 米		2.2	45.8	57.5	54.6	50.1						
	1年古米(30年産)	16.6	10.9	7.7	5.9	3.4	2.0						
	出荷段階	12.5	9.1	34.2	41.2	37.1	33.0						
	元 年 産 米		0.7	27.9	37.4	34.8	31.8						
	1年古米(30年産)	12.3	8.2	6.1	3.7	2.2	1.2						
	販売段階	4.7	4.4	19.7	22.6	21.1	19.2						
	元 年 産 米		1.5	17.8	20.1	19.7	18.3						
	1年古米(30年産)	4.4	2.7	1.6	2.3	1.2	0.9						
福井	出荷＋販売段階	19.0	14.8	51.1	75.9	61.9	66.4						
	元 年 産 米		2.5	42.9	71.0	58.0	63.4						
	1年古米(30年産)	18.8	12.2	8.2	4.8	3.9	3.0						
	出荷段階	14.3	9.8	39.2	59.3	46.8	48.0						
	元 年 産 米		1.1	33.6	58.4	46.3	47.5						
	1年古米(30年産)	14.3	8.8	5.7	0.9	0.5	0.4						
	販売段階	4.7	5.0	11.9	16.6	15.1	18.5						
	元 年 産 米		1.4	9.3	12.6	11.6	15.9						
	1年古米(30年産)	4.5	3.4	2.5	4.0	3.4	2.5						
岐阜	出荷＋販売段階	8.7	8.2	9.9	14.7	23.1	28.2						
	元 年 産 米		1.1	3.8	10.0	19.1	25.1						
	1年古米(30年産)	8.1	6.6	5.8	4.5	3.7	3.0						
	出荷段階	5.1	3.9	5.0	7.8	15.6	21.3						
	元 年 産 米		0.8	2.7	7.4	15.4	21.1						
	1年古米(30年産)	5.0	3.1	2.3	0.5	0.2	0.2						
	販売段階	3.6	4.3	5.0	6.8	7.4	6.9						
	元 年 産 米		0.4	1.1	2.6	3.7	4.0						
	1年古米(30年産)	3.0	3.5	3.5	4.1	3.5	2.8						
愛知	出荷＋販売段階	10.8	8.6	12.4	21.1	30.2	31.9						
	元 年 産 米		0.7	7.7	18.3	28.5	30.5						
	1年古米(30年産)	10.4	7.6	4.5	2.8	1.6	1.3						
	出荷段階	8.1	5.9	8.6	15.4	23.3	24.3						
	元 年 産 米		0.2	5.7	14.8	23.0	24.0						
	1年古米(30年産)	7.9	5.6	2.8	0.5	0.3	0.3						
	販売段階	2.8	2.7	3.7	5.7	6.9	7.6						
	元 年 産 米		0.5	1.9	3.5	5.5	6.6						
	1年古米(30年産)	2.4	2.0	1.7	2.3	1.3	1.0						

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三 重	出荷＋販売段階	10.0	13.8	40.3	44.6	45.1	42.3						
	元 年 産 米		8.6	35.9	41.2	42.3	39.9						
	1年古米(30年産)	8.8	4.2	3.5	3.3	2.8	2.4						
	出荷段階	6.0	10.5	34.9	38.7	39.9	36.9						
	元 年 産 米		6.9	31.8	36.7	38.1	35.3						
	1年古米(30年産)	5.2	2.8	2.5	2.0	1.9	1.6						
	販売段階	4.0	3.3	5.4	5.9	5.2	5.5						
	元 年 産 米		1.7	4.1	4.5	4.2	4.6						
	1年古米(30年産)	3.7	1.4	1.1	1.3	1.0	0.8						
滋 賀	出荷＋販売段階	19.1	14.9	51.2	59.7	60.4	64.4						
	元 年 産 米		1.4	40.7	50.8	52.9	58.3						
	1年古米(30年産)	17.8	12.5	9.9	8.5	7.3	6.0						
	出荷段階	15.1	11.3	46.1	53.5	54.3	57.7						
	元 年 産 米		1.2	38.5	46.8	48.5	53.0						
	1年古米(30年産)	14.1	9.4	7.2	6.4	5.5	4.5						
	販売段階	4.0	3.6	5.2	6.2	6.1	6.7						
	元 年 産 米		0.2	2.2	3.9	4.3	5.2						
	1年古米(30年産)	3.7	3.1	2.8	2.1	1.7	1.5						
京 都	出荷＋販売段階	3.6	2.4	8.0	10.8	11.7	11.1						
	元 年 産 米		0.0	6.5	10.1	11.3	10.7						
	1年古米(30年産)	3.5	2.3	1.4	0.6	0.4	0.3						
	出荷段階	2.7	1.7	6.7	9.2	10.1	9.4						
	元 年 産 米		0.0	6.0	9.1	10.1	9.4						
	1年古米(30年産)	2.7	1.7	0.8	0.1	0.0	0.0						
	販売段階	0.9	0.7	1.2	1.6	1.6	1.7						
	元 年 産 米			0.6	1.1	1.2	1.3						
	1年古米(30年産)	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3						
大 阪	出荷＋販売段階	0.4	0.3	0.4	0.6	1.2	1.9						
	元 年 産 米			0.2	0.5	1.1	1.8						
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.3	0.2	0.3	0.5	1.1	1.6						
	元 年 産 米			0.2	0.5	1.1	1.6						
	1年古米(30年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3						
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.2						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
兵 庫	出荷＋販売段階	16.5	12.8	24.7	49.2	48.4	46.5						
	元 年 産 米		0.0	14.9	46.7	46.4	45.1						
	1年古米(30年産)	16.2	12.5	9.6	2.3	1.8	1.3						
	出荷段階	14.1	11.0	22.0	43.7	42.7	41.2						
	元 年 産 米		0.0	13.6	43.6	42.7	41.2						
	1年古米(30年産)	14.1	11.0	8.4	0.1	0.1	0.0						
	販売段階	2.4	1.8	2.7	5.5	5.6	5.3						
	元 年 産 米			1.3	3.1	3.8	3.9						
	1年古米(30年産)	2.1	1.6	1.2	2.2	1.7	1.3						
奈 良	出荷＋販売段階	2.4	1.7	2.0	6.0	9.2	8.7						
	元 年 産 米			1.0	5.5	8.7	8.2						
	1年古米(30年産)	2.3	1.5	0.9	0.5	0.4	0.4						
	出荷段階	1.5	0.9	1.0	4.5	7.3	7.1						
	元 年 産 米			0.9	4.4	7.3	7.0						
	1年古米(30年産)	1.4	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.0	0.7	0.9	1.5	1.9	1.6						
	元 年 産 米			0.1	1.0	1.4	1.2						
	1年古米(30年産)	0.8	0.6	0.8	0.5	0.4	0.4						

(和歌山から山口)

(単位:千玄トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.5	0.3	0.6	1.0	1.0	1.1						
	元 年 産 米			0.4	0.9	0.9	1.0						
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1						
	出荷段階			0.4	0.7	0.7	0.6						
	元 年 産 米			0.4	0.7	0.7	0.6						
	1年古米(30年産)												
	販売段階	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4						
	元 年 産 米			0.1	0.2	0.2	0.3						
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1						
鳥取	出荷＋販売段階	8.3	5.7	9.3	21.6	23.5	28.1						
	元 年 産 米		0.0	5.8	19.2	21.4	26.4						
	1年古米(30年産)	8.1	5.6	3.5	2.4	2.1	1.7						
	出荷段階	5.9	3.8	7.6	19.0	20.6	25.1						
	元 年 産 米		0.0	5.3	18.0	19.6	24.2						
	1年古米(30年産)	5.9	3.8	2.3	1.1	1.0	0.9						
	販売段階	2.3	1.8	1.6	2.5	2.9	3.0						
	元 年 産 米			0.4	1.2	1.8	2.2						
	1年古米(30年産)	2.2	1.8	1.2	1.3	1.1	0.8						
島根	出荷＋販売段階	8.9	6.7	16.8	25.3	25.2	27.2						
	元 年 産 米		0.3	13.6	23.3	23.8	26.2						
	1年古米(30年産)	8.8	6.2	3.1	1.8	1.3	0.9						
	出荷段階	6.8	4.7	14.3	21.5	21.4	24.1						
	元 年 産 米		0.3	12.5	21.0	21.1	23.9						
	1年古米(30年産)	6.8	4.5	1.9	0.5	0.3	0.2						
	販売段階	2.1	1.9	2.5	3.8	3.8	3.2						
	元 年 産 米		0.0	1.1	2.3	2.7	2.3						
	1年古米(30年産)	1.9	1.7	1.2	1.4	1.0	0.7						
岡山	出荷＋販売段階	19.6	14.1	20.8	33.7	45.3	45.4						
	元 年 産 米			9.9	28.2	41.8	43.2						
	1年古米(30年産)	19.3	14.0	10.8	5.4	3.4	2.1						
	出荷段階	15.2	10.6	13.7	26.0	36.4	36.0						
	元 年 産 米			8.5	24.6	35.7	35.6						
	1年古米(30年産)	15.2	10.6	5.2	1.4	0.6	0.4						
	販売段階	4.4	3.6	7.1	7.8	8.9	9.3						
	元 年 産 米			1.4	3.6	6.1	7.6						
	1年古米(30年産)	4.1	3.4	5.6	4.1	2.7	1.7						
広島	出荷＋販売段階	11.4	8.2	21.4	37.8	37.2	33.9						
	元 年 産 米		0.2	15.9	34.4	34.4	31.7						
	1年古米(30年産)	11.1	7.7	5.2	3.3	2.5	2.0						
	出荷段階	8.2	5.6	17.4	30.5	30.3	27.5						
	元 年 産 米		0.1	14.2	30.3	30.2	27.4						
	1年古米(30年産)	8.2	5.5	3.2	0.2	0.2	0.1						
	販売段階	3.2	2.6	3.9	7.4	6.8	6.4						
	元 年 産 米		0.0	1.7	4.1	4.2	4.4						
	1年古米(30年産)	2.9	2.3	2.0	3.1	2.4	1.9						
山口	出荷＋販売段階	13.1	10.4	18.5	31.1	32.3	31.3						
	元 年 産 米		0.5	11.5	26.3	28.6	28.7						
	1年古米(30年産)	12.9	9.7	6.9	4.6	3.6	2.6						
	出荷段階	11.5	9.1	16.9	25.5	27.5	27.0						
	元 年 産 米		0.5	11.0	25.2	27.3	27.0						
	1年古米(30年産)	11.5	8.6	5.9	0.3	0.2	0.0						
	販売段階	1.6	1.3	1.7	5.6	4.7	4.3						
	元 年 産 米		0.0	0.5	1.2	1.3	1.7						
	1年古米(30年産)	1.4	1.2	1.0	4.3	3.4	2.5						

(徳島から佐賀)

(単位:千玄トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	2.5	7.2	13.4	12.4	12.2	11.1						
	元 年 産 米		5.3	12.0	11.3	11.1	10.2						
	1年古米(30年産)	2.4	1.8	1.4	1.1	1.0	0.9						
	出荷段階	1.0	5.0	9.8	8.9	8.5	7.7						
	元 年 産 米		4.3	9.7	8.8	8.5	7.6						
	1年古米(30年産)	1.0	0.7	0.2	0.1	0.1	0.0						
	販売段階	1.6	2.2	3.6	3.6	3.6	3.5						
	元 年 産 米		1.0	2.3	2.5	2.7	2.6						
	1年古米(30年産)	1.5	1.1	1.3	1.1	0.9	0.9						
香川	出荷＋販売段階	7.5	6.1	7.0	12.8	17.4	16.3						
	元 年 産 米		0.4	2.9	10.7	15.9	15.4						
	1年古米(30年産)	7.4	5.7	4.1	2.1	1.4	0.8						
	出荷段階	6.5	5.2	5.4	10.7	15.5	14.6						
	元 年 産 米		0.3	2.5	10.1	15.2	14.6						
	1年古米(30年産)	6.5	4.9	3.0	0.7	0.3	0.0						
	販売段階	1.0	0.9	1.6	2.1	1.9	1.7						
	元 年 産 米		0.1	0.4	0.6	0.7	0.8						
	1年古米(30年産)	0.9	0.8	1.1	1.4	1.1	0.8						
愛媛	出荷＋販売段階	3.1	3.6	5.3	9.4	10.3	10.6						
	元 年 産 米		1.6	3.9	8.3	9.5	9.9						
	1年古米(30年産)	2.9	1.9	1.3	1.0	0.8	0.6						
	出荷段階	2.6	3.2	4.9	8.9	9.8	10.1						
	元 年 産 米		1.5	3.8	8.0	9.1	9.6						
	1年古米(30年産)	2.4	1.5	1.1	0.8	0.6	0.5						
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5						
	元 年 産 米		0.1	0.1	0.3	0.3	0.4						
	1年古米(30年産)	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1						
高知	出荷＋販売段階	2.2	8.9	8.5	9.0	8.3	7.3						
	元 年 産 米	0.2	7.2	7.1	7.9	7.2	6.4						
	1年古米(30年産)	1.7	1.3	1.1	0.9	0.8	0.8						
	出荷段階	0.4	4.0	4.2	4.1	3.7	3.3						
	元 年 産 米	0.1	3.7	4.1	4.1	3.6	3.3						
	1年古米(30年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.8	4.9	4.3	4.9	4.6	4.0						
	元 年 産 米	0.1	3.5	3.0	3.8	3.6	3.1						
	1年古米(30年産)	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7						
福岡	出荷＋販売段階	18.9	13.5	20.6	33.0	40.0	49.4						
	元 年 産 米		0.5	12.7	27.3	36.0	46.7						
	1年古米(30年産)	18.5	12.8	7.7	5.6	3.9	2.6						
	出荷段階	14.9	9.5	13.9	23.0	31.1	41.5						
	元 年 産 米		0.2	8.6	20.9	29.8	40.7						
	1年古米(30年産)	14.9	9.2	5.3	2.1	1.3	0.9						
	販売段階	3.9	4.0	6.7	10.0	8.9	7.9						
	元 年 産 米		0.2	4.2	6.3	6.2	6.1						
	1年古米(30年産)	3.6	3.6	2.3	3.6	2.6	1.7						
佐賀	出荷＋販売段階	12.2	9.8	8.3	16.2	22.7	23.6						
	元 年 産 米		0.9	2.5	13.6	20.4	21.9						
	1年古米(30年産)	12.1	8.8	5.7	2.6	2.3	1.6						
	出荷段階	10.8	8.6	7.3	12.9	19.2	20.4						
	元 年 産 米		0.8	2.3	12.9	19.1	20.4						
	1年古米(30年産)	10.8	7.8	5.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	1.4	1.2	1.1	3.3	3.6	3.2						
	元 年 産 米		0.1	0.3	0.7	1.2	1.5						
	1年古米(30年産)	1.3	1.0	0.7	2.5	2.3	1.6						

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	3.3	2.6	2.5	5.6	8.1	8.5						
	元 年 産 米		0.4	1.3	4.7	7.4	8.0						
	1年古米(30年産)	3.2	2.2	1.2	0.9	0.7	0.4						
	出荷段階	3.0	2.4	2.2	4.7	7.1	7.6						
	元 年 産 米		0.4	1.2	4.4	6.8	7.4						
	1年古米(30年産)	3.0	2.0	1.0	0.4	0.3	0.2						
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.9	1.1	0.8						
	元 年 産 米		0.0	0.1	0.3	0.6	0.6						
	1年古米(30年産)	0.2	0.2	0.1	0.5	0.4	0.2						
熊本	出荷＋販売段階	21.5	18.2	15.7	33.9	40.2	46.3						
	元 年 産 米		2.5	5.5	27.9	35.6	42.5						
	1年古米(30年産)	20.9	15.3	9.9	5.8	4.5	3.7						
	出荷段階	15.0	12.2	8.9	21.8	27.9	34.5						
	元 年 産 米		1.6	3.1	19.6	26.6	34.0						
	1年古米(30年産)	15.0	10.6	5.8	2.2	1.4	0.4						
	販売段階	6.5	6.0	6.8	12.1	12.3	11.8						
	元 年 産 米		0.9	2.4	8.3	9.1	8.5						
	1年古米(30年産)	5.9	4.7	4.1	3.6	3.1	3.2						
大分	出荷＋販売段階	7.2	5.9	6.0	11.4	15.9	16.4						
	元 年 産 米		0.4	2.3	8.0	13.2	14.3						
	1年古米(30年産)	7.0	5.4	3.7	3.4	2.7	2.1						
	出荷段階	5.0	4.0	4.0	6.6	10.1	10.3						
	元 年 産 米		0.2	1.7	5.2	9.0	9.5						
	1年古米(30年産)	5.0	3.8	2.4	1.4	1.1	0.8						
	販売段階	2.1	1.9	2.0	4.7	5.8	6.1						
	元 年 産 米		0.1	0.7	2.8	4.3	4.9						
	1年古米(30年産)	2.0	1.7	1.3	2.0	1.6	1.2						
宮崎	出荷＋販売段階	6.0	7.4	3.9	10.7	12.0	12.8						
	元 年 産 米	3.5	5.6	3.0	10.0	11.4	12.4						
	1年古米(30年産)	2.4	1.8	0.9	0.6	0.5	0.4						
	出荷段階	3.9	4.2	0.5	7.8	9.2	10.3						
	元 年 産 米	2.2	3.0	0.2	7.7	9.2	10.3						
	1年古米(30年産)	1.6	1.2	0.3	0.1	0.0	0.0						
	販売段階	2.1	3.2	3.4	2.9	2.8	2.5						
	元 年 産 米	1.3	2.6	2.8	2.4	2.3	2.1						
	1年古米(30年産)	0.8	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3						
鹿児島	出荷＋販売段階	7.9	10.2	9.0	17.1	20.1	19.1						
	元 年 産 米	0.7	4.0	4.1	13.2	16.8	16.3						
	1年古米(30年産)	6.6	5.7	4.4	3.6	3.1	2.6						
	出荷段階	5.7	5.9	4.0	11.4	13.9	13.7						
	元 年 産 米	0.1	1.1	0.8	8.8	11.7	12.0						
	1年古米(30年産)	5.0	4.4	2.8	2.3	2.0	1.6						
	販売段階	2.2	4.3	5.0	5.8	6.2	5.4						
	元 年 産 米	0.6	3.0	3.3	4.4	5.1	4.4						
	1年古米(30年産)	1.6	1.3	1.6	1.3	1.1	1.0						
沖縄	出荷＋販売段階	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3						
	元 年 産 米	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	出荷段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2						
	元 年 産 米	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2						
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1						
	元 年 産 米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1						
	1年古米(30年産)												

Ⅲ 米の価格情報

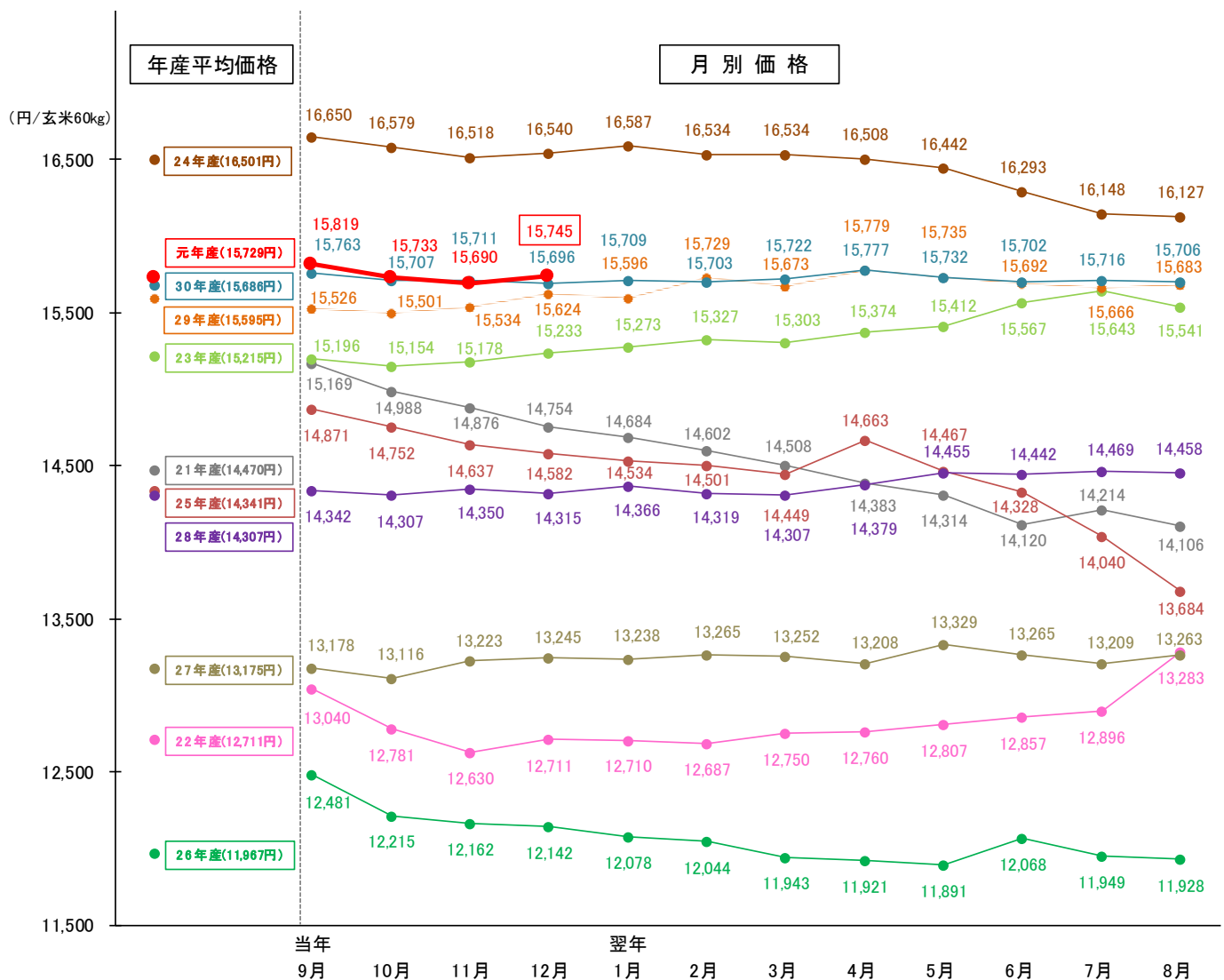
1 相対取引価格・数量

(1) 年産別の相対取引価格

- 令和元産米の令和元年12月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,745円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産+43円の15,729円/60kg。

※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。
- 4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（30年産は令和元年8月、元年産は令和元年12月）までの通年平均価格（29年産以前は確定値、30年産及び元年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。

(2) 相対取引価格・数量（令和元年産米、産地品種銘柄別、令和元年12月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から静岡まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 元年産米 (元年12月)	数量 元年産米 (元年12月)	参 考								年産平均価格			
				価格				数量				元年産米 (出回り～ 元年12月)	30年産米 (出回り～ 元年8月)	価格差 ⑦-⑧	対前年比 ⑦/⑧
				元年産米 (元年11月)	対前月比	30年産米 (30年12月)	対前年比	元年産米 (元年11月)	対前月比	30年産米 (30年12月)	対前年比				
北海道	ななつぼし	15,849	24,012	15,838	100%	16,103	98%	15,185	158%	14,767	163%	15,835	16,000	▲ 165	99%
北海道	ゆめぴりか	16,901	11,695	16,826	100%	16,213	104%	7,495	156%	8,804	133%	16,973	16,263	+ 710	104%
北海道	きらら397	15,495	4,204	15,340	101%	16,148	96%	3,591	117%	1,310	321%	15,416	15,540	▲ 124	99%
青森	まっしぐら	14,701	18,356	14,747	100%	14,670	100%	10,034	183%	7,997	230%	14,670	14,762	▲ 92	99%
青森	つがるロマン	15,151	3,713	15,097	100%	15,221	100%	3,211	116%	1,983	187%	15,060	15,069	▲ 9	100%
岩手	ひとめぼれ	15,217	13,314	15,466	98%	15,338	99%	3,284	405%	4,412	302%	15,325	15,334	▲ 9	100%
岩手	あきたこまち	15,312	960	15,205	101%	15,247	100%	500	192%	1,629	59%	15,251	15,251	± 0	100%
岩手	銀河のしずく	16,381	253	16,382	100%	-	-	529	48%	-	-	16,286	-	-	-
宮城	ひとめぼれ	15,513	35,298	15,610	99%	15,729	99%	4,425	798%	6,047	584%	15,544	15,532	+ 12	100%
宮城	つや姫	15,968	1,366	15,908	100%	15,941	100%	339	403%	143	955%	15,901	15,845	+ 56	100%
宮城	ササニシキ	15,871	876	15,825	100%	15,784	101%	423	207%	1,101	80%	15,801	15,761	+ 40	100%
秋田	あきたこまち	15,855	21,088	15,832	100%	15,760	101%	20,141	105%	18,978	111%	15,842	15,840	+ 2	100%
秋田	めんこいな	14,471	2,039	14,299	101%	14,056	103%	1,257	162%	986	207%	14,447	14,779	▲ 332	98%
秋田	ひとめぼれ	15,211	1,112	15,133	101%	15,321	99%	819	136%	1,541	72%	15,160	15,437	▲ 277	98%
山形	はえぬき	15,370	15,048	15,496	99%	15,391	100%	5,810	259%	20,050	75%	15,420	15,418	+ 2	100%
山形	つや姫	18,631	2,925	18,555	100%	18,257	102%	3,541	83%	2,689	109%	18,571	18,346	+ 225	101%
山形	ひとめぼれ	15,537	431	15,569	100%	15,463	100%	463	93%	1,448	30%	16,526	15,981	+ 545	103%
福島	コシヒカリ（中通り）	15,417	3,089	15,082	102%	15,299	101%	6,934	45%	3,631	85%	15,181	15,460	▲ 279	98%
福島	コシヒカリ（会津）	15,580	2,628	15,886	98%	15,840	98%	4,338	61%	1,679	157%	15,828	15,532	+ 296	102%
福島	コシヒカリ（浜通り）	14,853	2,263	15,109	98%	-	-	985	230%	-	-	14,980	15,086	▲ 106	99%
福島	ひとめぼれ	14,699	1,231	14,755	100%	15,179	97%	2,797	44%	1,823	68%	14,761	14,973	▲ 212	99%
福島	天のつぶ	14,785	3,562	14,253	104%	14,519	102%	2,717	131%	625	570%	14,509	14,603	▲ 94	99%
茨城	コシヒカリ	15,752	5,231	15,645	101%	15,535	101%	2,518	208%	8,727	60%	15,732	15,543	+ 189	101%
茨城	あきたこまち	15,426	763	15,202	101%	15,046	103%	166	460%	1,089	70%	15,484	15,102	+ 382	103%
茨城	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	15,649	19,443	15,649	100%	15,677	100%	4,174	466%	6,412	303%	15,634	15,599	+ 35	100%
栃木	あさひの夢	14,687	331	14,836	99%	14,342	102%	787	42%	127	261%	14,715	14,790	▲ 75	99%
栃木	とちぎの星	15,110	2,585	14,833	102%	-	-	1,503	172%	-	-	14,954	-	-	-
群馬	あさひの夢	-	-	15,197	-	15,516	-	367	-	3,919	-	14,583	15,166	▲ 583	96%
群馬	ゆめまつり	14,855	237	-	-	15,250	97%	-	-	845	28%	14,873	14,926	▲ 53	100%
埼玉	彩のかがやき	14,877	966	15,033	99%	15,049	99%	206	469%	2,171	44%	14,912	15,165	▲ 253	98%
埼玉	コシヒカリ	15,285	198	15,184	101%	15,613	98%	893	22%	140	141%	15,193	15,472	▲ 279	98%
埼玉	彩のきずな	14,914	326	14,864	100%	15,064	99%	898	36%	409	80%	14,903	15,180	▲ 277	98%
千葉	コシヒカリ	15,726	1,518	15,724	100%	15,586	101%	1,457	104%	6,718	23%	15,762	15,517	+ 245	102%
千葉	ふさこがね	14,640	1,667	14,728	99%	14,594	100%	1,663	100%	2,885	58%	14,756	14,638	+ 118	101%
千葉	ふさおとめ	14,712	1,433	14,673	100%	14,723	100%	1,457	98%	2,812	51%	14,919	14,766	+ 153	101%
山梨	コシヒカリ	18,369	401	18,267	101%	18,095	102%	176	228%	342	117%	18,356	18,016	+ 340	102%
長野	コシヒカリ	16,019	11,566	16,130	99%	16,009	100%	2,514	460%	9,552	121%	16,050	16,084	▲ 34	100%
長野	あきたこまち	15,405	344	15,365	100%	15,223	101%	325	106%	773	45%	15,331	15,256	+ 75	100%
静岡	コシヒカリ	16,054	183	16,112	100%	15,953	101%	195	94%	146	125%	16,105	15,971	+ 134	101%
静岡	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,054	14,951	+ 103	101%
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,936	-	-

注：本表の注意点は次々頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（新潟から広島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 元年産米 (元年12月)	数量 元年産米 (元年12月)	参 考								年産平均価格			
				価格				数量				元年産米 〔出回り～〕 元年12月	30年産米 〔出回り～〕 元年8月	価格差 ⑦-⑧	対前年比 ⑦/⑧
				元年産米 (元年11月)	対前月比	30年産米 (30年12月)	対前年比	元年産米 (元年11月)	対前月比	30年産米 (30年12月)	対前年比				
①	②	③	①/③	④	①/④	⑤	②/⑤	⑥	②/⑥	⑦	⑧	⑦-⑧	⑦/⑧		
新潟	コシヒカリ（一般）	17,334	8,107	17,126	101%	17,021	102%	9,833	82%	33,843	24%	17,336	17,040	+ 296	102%
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,782	1,708	20,971	99%	20,939	99%	803	213%	4,215	41%	20,934	21,127	▲ 193	99%
新潟	コシヒカリ（佐渡）	17,919	2,735	17,932	100%	17,493	102%	578	473%	2,302	119%	17,894	17,514	+ 380	102%
新潟	コシヒカリ（岩船）	17,948	1,848	17,962	100%	17,454	103%	395	468%	2,577	72%	17,884	17,455	+ 429	102%
新潟	こしいぶき	15,213	4,942	14,850	102%	15,055	101%	4,326	114%	13,961	35%	15,065	15,097	▲ 32	100%
富山	コシヒカリ	16,195	4,181	15,316	106%	15,978	101%	4,372	96%	8,938	47%	16,021	15,951	+ 70	100%
富山	てんたかく	14,794	1,262	14,717	101%	14,715	101%	394	320%	406	311%	14,854	14,755	+ 99	101%
石川	コシヒカリ	15,896	2,240	16,054	99%	15,841	100%	293	765%	1,811	124%	15,961	15,887	+ 74	100%
石川	ゆめみづほ	14,746	370	14,812	100%	-	-	777	48%	-	-	14,762	14,651	+ 111	101%
福井	コシヒカリ	16,178	3,744	16,237	100%	16,100	100%	1,419	264%	2,230	168%	16,203	16,144	+ 59	100%
福井	ハナエチゼン	14,967	2,585	15,085	99%	14,966	100%	1,915	135%	986	262%	15,070	14,924	+ 146	101%
福井	あきさかり	15,014	1,290	15,102	99%	-	-	291	443%	-	-	15,051	-	-	-
岐阜	ハツシモ	15,186	670	15,643	97%	15,190	100%	740	91%	402	167%	15,405	15,331	+ 74	100%
岐阜	コシヒカリ	16,419	424	16,236	101%	15,783	104%	669	63%	190	223%	16,154	15,948	+ 206	101%
岐阜	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14,564	-	-	-
愛知	あいちのかおり	14,814	565	14,669	101%	14,529	102%	1,309	43%	1,225	46%	14,716	14,500	+ 216	101%
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,347	-	-
愛知	大地の風	-	-	14,673	-	14,637	-	115	-	109	-	14,720	14,691	+ 29	100%
三重	コシヒカリ（一般）	15,502	1,342	15,555	100%	15,426	100%	546	246%	603	223%	15,563	15,393	+ 170	101%
三重	コシヒカリ（伊賀）	15,888	748	15,948	100%	15,778	101%	378	198%	354	211%	15,923	15,881	+ 42	100%
三重	キヌヒカリ	14,807	180	14,930	99%	-	-	136	132%	-	-	14,863	14,813	+ 50	100%
滋賀	コシヒカリ	15,862	1,037	15,692	101%	15,587	102%	1,440	72%	1,853	56%	15,855	15,649	+ 206	101%
滋賀	キヌヒカリ	14,928	791	14,997	100%	14,260	105%	1,284	62%	1,047	76%	14,942	14,762	+ 180	101%
滋賀	みずかがみ	15,793	725	16,385	96%	-	-	252	288%	-	-	15,796	-	-	-
京都	コシヒカリ	15,966	264	16,455	97%	15,770	101%	135	196%	609	43%	16,189	15,725	+ 464	103%
京都	キヌヒカリ	-	-	15,141	-	-	-	107	-	-	-	15,305	14,936	+ 369	102%
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,547	-	-
兵庫	コシヒカリ	16,150	764	16,228	100%	16,049	101%	1,094	70%	777	98%	16,181	16,010	+ 171	101%
兵庫	ヒノヒカリ	14,923	219	14,696	102%	14,791	101%	533	41%	284	77%	14,755	14,798	▲ 43	100%
兵庫	キヌヒカリ	14,972	533	14,829	101%	14,736	102%	420	127%	299	178%	14,844	14,842	+ 2	100%
奈良	ヒノヒカリ	15,853	342	15,801	100%	15,550	102%	371	92%	528	65%	15,831	15,538	+ 293	102%
鳥取	きぬむすめ	14,973	3,727	14,714	102%	14,486	103%	161	2315%	554	673%	14,853	14,683	+ 170	101%
鳥取	コシヒカリ	15,728	3,738	15,281	103%	15,472	102%	405	923%	358	1044%	15,564	15,464	+ 100	101%
鳥取	ひとめぼれ	14,897	1,821	14,684	101%	14,470	103%	324	562%	284	641%	14,765	14,495	+ 270	102%
島根	コシヒカリ	16,591	393	15,841	105%	16,396	101%	513	77%	502	78%	15,757	15,738	+ 19	100%
島根	きぬむすめ	15,242	128	14,418	106%	14,740	103%	1,164	11%	125	102%	14,554	14,824	▲ 270	98%
島根	つや姫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,439	15,597	▲ 158	99%
岡山	アケボノ	14,904	639	14,927	100%	14,962	100%	671	95%	151	423%	14,915	14,939	▲ 24	100%
岡山	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,514	15,059	+ 455	103%
岡山	ヒノヒカリ	15,551	113	15,389	101%	-	-	184	61%	-	-	15,511	15,276	+ 235	102%
広島	コシヒカリ	15,365	892	15,446	99%	15,357	100%	1,354	66%	1,343	66%	15,744	15,423	+ 321	102%
広島	あきさかり	14,470	267	14,621	99%	14,721	98%	1,092	24%	563	47%	14,719	14,500	+ 219	102%
広島	あきろまん	14,808	426	14,742	100%	14,873	100%	332	128%	276	154%	14,789	14,373	+ 416	103%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

相対取引価格・数量（山口から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 元年産米 (元年12月)	数量 元年産米 (元年12月)	参 考								年産平均価格			
				価 格				数 量				元年産米	30年産米	価格差	対前年比
				元年産米 (元年11月)	30年産米 (30年12月)	対前月比	対前年比	元年産米 (元年11月)	30年産米 (30年12月)	対前月比	対前年比	〔出回り～〕 元年12月	〔出回り～〕 元年8月		
				③	④			⑤	⑥			⑦	⑧		
		①	②		①/③		①/④		②/⑤		②/⑥			⑦-⑧	⑦/⑧
山口	コシヒカリ	15,485	619	15,566	99%		102%	429	144%		127%	15,517	15,266	+ 251	102%
山口	ひとめぼれ	14,548	567	14,589	100%		101%	280	203%		121%	14,564	14,404	+ 160	101%
山口	ヒノヒカリ	14,538	542	14,641	99%		101%	223	243%		123%	14,559	14,406	+ 153	101%
徳島	コシヒカリ	15,768	120	-	-		99%	-	-		50%	15,745	15,867	▲ 122	99%
徳島	キヌヒカリ	-	-	15,336	-		-	120	-		-	15,336	15,102	+ 234	102%
香川	コシヒカリ	15,280	528	15,322	100%		100%	432	122%		124%	15,287	15,259	+ 28	100%
香川	ヒノヒカリ	14,833	397	14,701	101%		100%	374	106%		69%	14,812	14,802	+ 10	100%
香川	おいでまい	15,379	314	15,423	100%		100%	193	163%		96%	15,391	15,382	+ 9	100%
愛媛	コシヒカリ	15,457	281	15,527	100%		100%	293	96%		96%	15,609	15,536	+ 73	100%
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	15,065	-		-	105	-		-	15,022	15,190	▲ 168	99%
愛媛	あきたこまち	-	-	-	-		-	-	-		-	14,973	14,946	+ 27	100%
高知	コシヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	-	15,171	-	-
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	-	14,358	-	-
福岡	夢つくし	16,186	1,316	16,196	100%		100%	864	152%		125%	16,314	16,267	+ 47	100%
福岡	ヒノヒカリ	15,502	775	15,381	101%		100%	1,174	66%		64%	15,463	15,448	+ 15	100%
福岡	元氣つくし	15,880	3,662	16,091	99%		98%	936	391%		276%	16,016	16,093	▲ 77	100%
佐賀	夢しずく	14,838	207	-	-		103%	-	-		69%	14,976	14,430	+ 546	104%
佐賀	さがびより	-	-	-	-		-	-	-		-	-	15,027	-	-
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	-	14,236	-	-
長崎	にこまる	15,332	299	15,291	100%		97%	228	131%		105%	15,319	15,796	▲ 477	97%
長崎	ヒノヒカリ	15,034	205	14,992	100%		97%	151	136%		86%	15,026	15,476	▲ 450	97%
長崎	コシヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	15,973	16,383	▲ 410	97%
熊本	ヒノヒカリ	15,337	524	15,296	100%		102%	175	299%		112%	15,213	15,147	+ 66	100%
熊本	森のくまさん	-	-	-	-		-	-	-		-	15,264	14,891	+ 373	103%
熊本	コシヒカリ	-	-	15,791	-		-	287	-		-	15,767	15,719	+ 48	100%
大分	ヒノヒカリ	15,762	617	15,720	100%		98%	1,199	51%		67%	15,691	15,655	+ 36	100%
大分	ひとめぼれ	-	-	15,877	-		-	148	-		-	15,869	15,764	+ 105	101%
大分	つや姫	-	-	-	-		-	-	-		-	15,904	-	-	-
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	16,042	15,458	+ 584	104%
宮崎	ヒノヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	15,725	16,010	▲ 285	98%
鹿児島	ヒノヒカリ	-	-	16,275	-		-	189	-		-	16,039	16,092	▲ 53	100%
鹿児島	あきほなみ	-	-	16,153	-		-	117	-		-	16,211	16,929	▲ 718	96%
鹿児島	コシヒカリ	-	-	-	-		-	-	-		-	16,670	16,307	+ 363	102%
全銘柄平均価格、合計数量		15,745	284,540	15,690	100%		100%	167,935	169%		115%	15,729	15,686	+ 43	100%

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（30年産、元年産のいずれも速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「ー」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和元年 8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森まっしぐら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987							
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぐ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500										
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657							
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ(一般)	随時		16,794				16,726							
	取引会		16,755		16,650		16,747							

【平成30年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
北海道ななつぼし	取引会						15,750		15,500					
北海道ゆめぴりか	取引会		16,113											
北海道きらら397	随時						14,975							
青森つがるロマン	随時			14,000										
宮城ひとめぼれ	随時								14,850			15,121		
	取引会										15,030			
秋田あきたこまち	随時		14,693	14,638	15,072	15,140		15,102	14,792	15,147		17,060	18,122	
	取引会		14,690		15,055		15,200		14,816		15,475		18,245	
福島コシヒカリ(中通)	随時					14,660					14,782			
	取引会										14,885			
福島ひとめぼれ	取引会						14,550						14,800	
茨城コシヒカリ	随時		14,571	14,581	14,613		14,770				14,613		15,016	
	取引会	14,220	14,470						14,495		14,600		14,981	14,895
茨城あきたこまち	取引会		13,862											
栃木コシヒカリ	随時			14,260	14,619	14,800							15,083	
栃木あさひの夢	取引会				13,671									
群馬あさひの夢	取引会								13,920					
千葉コシヒカリ	取引会	14,226			14,985		14,914							
千葉ふさおとめ	取引会	13,700												
千葉ふさこがね	取引会				14,014								14,200	
新潟コシヒカリ(一般)	随時		16,493		17,649	17,893	18,234		18,930		20,047		19,237	
	取引会		16,500		17,607		18,620		18,950		20,350		19,500	17,268

出典：日本コメ市場株式会社HP

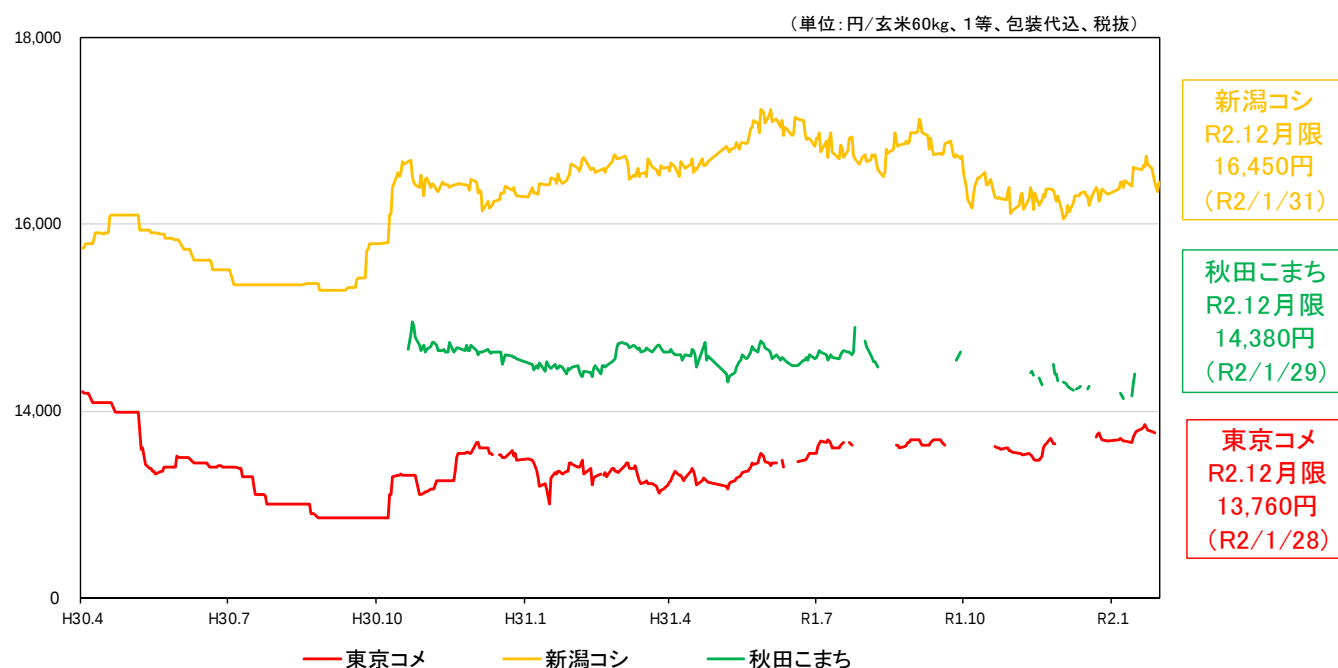
注1：日本コメ市場(随時)の価格は、随時取引(取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引)の下期(16日～月末分。ただし、下期が公表されていない場合は上期)の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

注2：日本コメ市場(取引会)の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格(取引数量により加重平均)であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

3 米の先物取引価格の推移

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、
東京コメが令和2年12月限13,760円（令和2年1月28日）、
新潟コシが令和2年12月限16,450円（令和2年1月31日）、
秋田こまちが令和2年12月限14,380円（令和2年1月29日） となっている。

価格の推移（期先限月の終値）



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 東京コメ、新潟コシは平成30年4月2日から、秋田こまちは平成30年10月22日から令和2年1月31日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまちを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年1月分)

- 米穀機構が公表している米取引関係者の判断に関する調査(令和2年1月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前月比-2ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は-4ポイント。

国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I

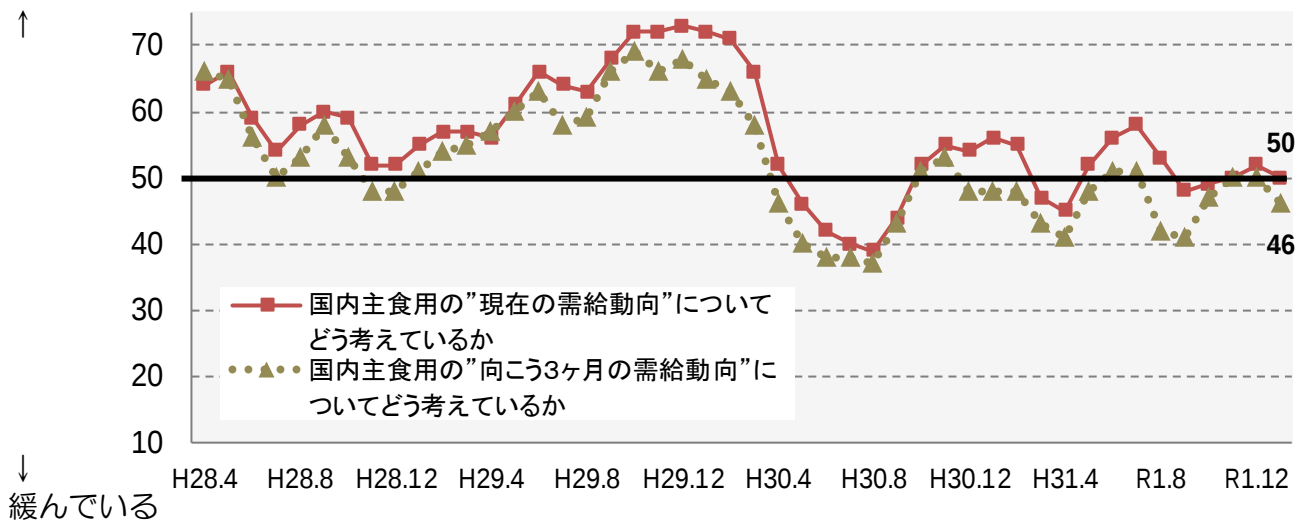
前月からの増減 -2 (今月の数値 50)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前月からの増減 -4 (今月の数値 46)

主食用米の需給動向

↑
締まっている



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来) 締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来) 緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

以上の他、「自社の取引状況に関する判断(業態ごと)」など
詳細な情報は、米穀機構ホームページ(米ネット)を参照ください。

【<http://www.komenet.jp/>】

また、マンスリーレポート(資料編)にも掲載しております。

《アンケート方法等》

- 調査期間: 毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法: 電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者: 全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の160客体
- 有効回答数: 122客体
 - 生産者..... 7
 - 集出荷業者/団体..... 21
 - 卸売業者(主に主食用米)..... 29
 - 小売業者/中食・外食業者..... 49
 - その他..... 16

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 米価水準の現状判断は対前月比 ±0ポイント、見通し（向こう3ヶ月）判断は－2ポイント。

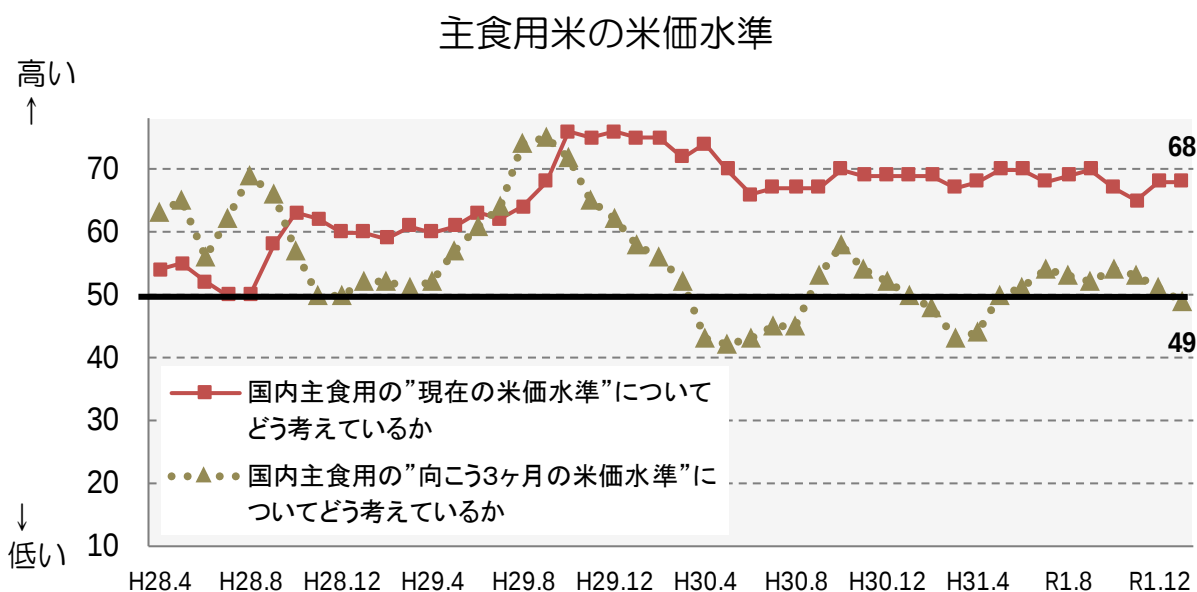
② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI

前月からの増減 ±0 (今月の数値 68)

(イ) 見通し判断DI (向こう3ヶ月)

前月からの増減 -2 (今月の数値 49)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

《利用上の注意》

○ 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

(DIの算出例)

問: 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

Ⅳ 主食用米以外（輸出を含む）

1 令和元年産米の作付状況

- 令和元年産米の作付面積は、主食用米が137.9万ha、主食用米以外が約20.4万ha。
- 主食用米以外の取組は、新規需要米12.4万ha、加工用米4.7万ha、備蓄米3.3万ha。

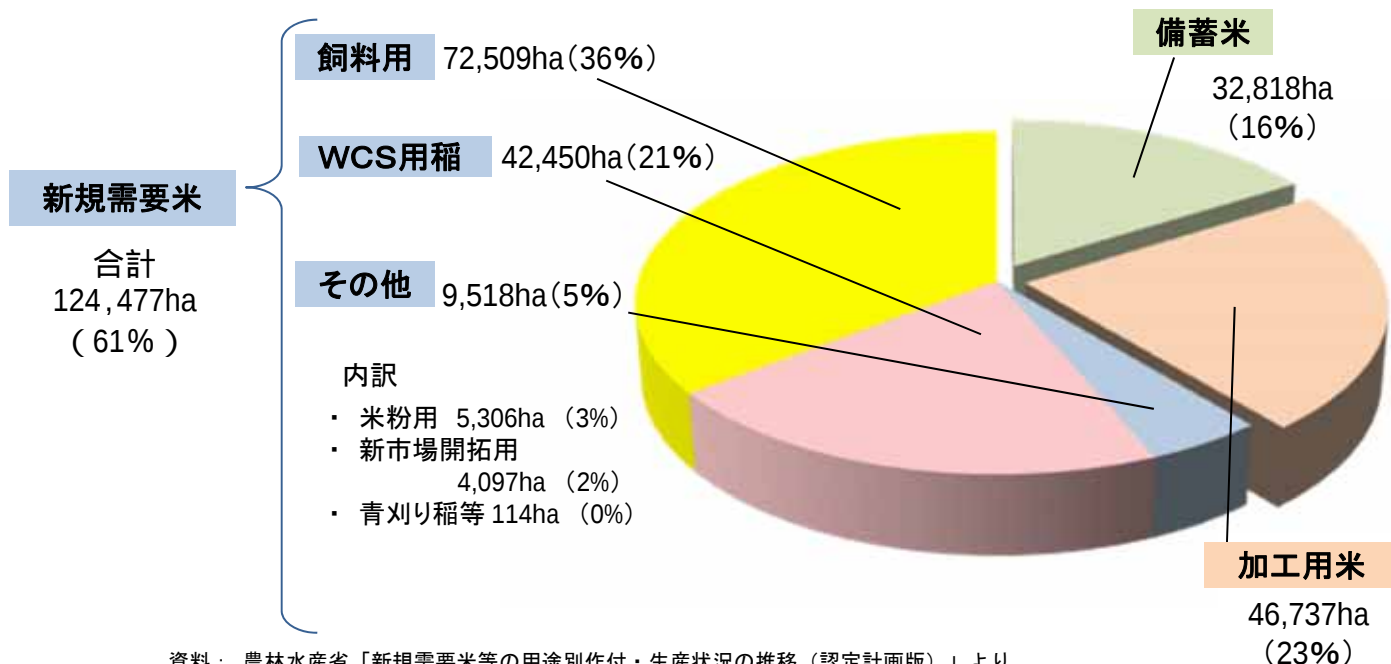
（１）令和元年産米の用途別作付面積及び生産量

	計	主食用米	新規需要米	加工用米	備蓄米
作付面積（万ha）	158.3	137.9	12.4	4.7	3.3
生産量（万トン）		727.0	43.4	25.7	18.5

※主食用米の生産量は、農林水産省「令和元年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月31日公表）」の収穫量である。
それ以外の生産量は、計画生産量である。

※WCS、青刈り等専用稲は生産量に計上していない。

（２）主食用米以外の取組状況（作付面積及び作付面積比率）



資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（認定計画版）」より

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。

注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。

（３）新規需要米の用途別認定状況

		新規需要米（元年産）				
		飼料用米	米粉用米	新市場開拓用米	WCS用稲	青刈り用稲・わら専用稲
作付面積（ha）	124,477	72,509	5,306	4,097	42,450	114
計画生産量（ト）	433,907	383,443	27,975	22,488		

資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（認定計画版）」より

注1：新規需要米の取組として認定を受けた令和元年10月15日現在の値。

注2：「WCS用稲」及び「わら専用、青刈り用稲」については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注3：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成30米穀年度における使用量は、焼酎、包装もちの出荷量の減少等により、前年から微減の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に特定米穀及び輸入米粉調製品の使用量が増加。

（１） 30米穀年度（平成29年11月～30年10月）における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	6					11
味噌用		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)		2		3	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1	2		1	1		4
合計	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞ (単位: 万玄米トン)

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	2	3				1	7
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	6		1	1	5	19

注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(2) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

（単位：万玄米トン）

用 途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11 (8)	9		4			24 (8)
	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
合 計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77

（単位：万玄米トン）

用 途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1					1	3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26							1
	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
合 計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19

注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。

2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。

6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万kl程度まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化してきており、特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の国内出荷量全体に占める割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。ただし、元年の輸出量は減少に転じており、今後の動向に注視が必要。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	465	94%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	96%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	100%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	97%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	92%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年で元年は概算値。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	97%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	108%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	124%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	54%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	92%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	105%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米、「酒造好適米」（山田錦、五百万石など）が使用されている。
- 近年、日本酒の出荷量は減少傾向であるものの、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒の割合が増加傾向にあるため、日本酒原料米の使用量は総じて堅調に推移。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産
日本酒原料米	405	315	261	246	232	238	241	243	248	251	241	240
酒造好適米									(4)	(7)	(7)	(7)
加工用米	99	75	77	71	65	65	68	76	90	99	97	94
その他	86	89	74	72	77	71	79	95	105	94	93	88
その他	220	151	110	103	90	102	94	72	53	58	51	58

資料：農林水産省による推計値。

注：酒造好適米の（ ）書きは生産数量目標の枠外で生産された数量で内数。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、令和元年産は、前年産より作柄が良かったことから、生産量は前年産と同程度の約97千トンと見込まれる。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	
										対30年産比	
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,708	100.9%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,503	101.7%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,324	91.1%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,604	103.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,954	108.5%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	33,323	105.4%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：元年産は、令和元年12月31日現在の速報値を直近3カ年の12月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 酒造好適米の需要量については、令和元年度の需要量調査によると、令和元年産は88～90千トン、令和2年産は87～89千トン程度の需要量が見込まれている。

（参考）令和元年度 酒造好適米等の需要量調査の概要

- 日本酒の全酒造メーカー（1,430社）を対象として、令和元年7月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。763社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約82～84%と推計される。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	29年産	30年産	元年産	2年産
		対29年産比	対29年産比	対29年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	77,719	72,905 93.8%	73,354 94.4%	73,013 93.9%
山田錦	32,148	28,682 89.2%	29,485 91.7%	29,044 90.3%
五百万石	16,191	15,365 94.9%	14,462 89.3%	14,403 89.0%
美山錦	5,058	4,734 93.6%	4,453 88.0%	4,406 87.1%
雄町	1,711	1,546 90.4%	1,560 91.2%	1,619 94.7%
その他	22,611	22,577 99.8%	23,395 103.5%	23,540 104.1%
酒造好適米の全体需要量(推計)	93～95千トン	87～89千トン	88～90千トン	87～89千トン

資料：「令和元年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果（実数）」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量（推計）」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約82～84%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

4 飼料用米の需要量

- 畜産側の令和元年産に係る飼料用米の年間需要量は、約120万トン。
〔農林水産省生産局畜産部飼料課調べ〕
- ① 全農グループ飼料会社：約69万トン（米使用可能数量約82万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量）
- ② （協）日本飼料工業会組合員工場：約50万トン（米の需要量見込み約88万トンのうちMA米・備蓄米を含まない数量）
- ③ 全国酪農業協同組合連合会：約1万トン（MA米、備蓄米を含む米使用可能数量）
- ④ 日本養鶏連：約4万トン（MA米、備蓄米を含む米使用可能数量）
- ⑤ 畜産農家：約2万トン〔44件〕（新規需要量、令和元年6月28日現在の報告分。
追加情報は随時更新）
- 上記の地域別内訳、問い合わせ先は以下のとおり。

① 全農グループ飼料会社の飼料用米の使用可能数量（平成31年1月現在）

地区	年間使用可能数量 (千トン)	備 考
北海道	65	ホクレンくみあい飼料
東北	203	J A全農北日本くみあい飼料
関東	125	J A東日本くみあい飼料・科学飼料研究所
北陸	25	J A東日本くみあい飼料
東海	35	〃
近畿・中国	32	J A西日本くみあい飼料
四国	25	〃
北九州	37	ジェイエイ北九州くみあい飼料
南九州	143	南日本くみあい飼料・科学飼料研究所
合 計	691	

- (※) 使用可能数量は、製造工程・能力から試算した数量。
 (※) この他、MA米、備蓄米に対する需要が約13万トンある。
 (※) 畜種別の使用割合は、グループ内の飼料会社からの聞取りをもとに、採卵鶏約33%、豚約29%、ブロイラー約19%、肉用牛約13%、乳用牛約6%と推計。
 (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等により制限される可能性がある。
 (※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：JA全農 耕種総合対策部飼料用米対策課 TEL:03-6271-8279

② 日本飼料工業会組合員の工場の飼料用米需要量見込み（平成31年1月現在）

地 区	需要量 (千トン：単年度)	備 考
北海道	21	
東北	153	
関東	115	
中部	51	
関西	58	
九州	97	
合 計	495	

- (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
 (※) この他、MA米、備蓄米に対する需要が約38万トンある。
 (※) 上記の需要量には、MA米、備蓄米は含まない。
 (※) 畜種別の使用割合は、組合員の一部の工場からの聞取りをもとに、豚約35%、ブロイラー約32%、採卵鶏約30%、乳用牛約2%、肉用牛約1%と推計。
 (※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

（協）日本飼料工業会は「飼料用米ダイヤル」を設置し、飼料用米を生産して売りたい産地の生産者や集荷業者、JA、飼料用米を使用したい傘下の全国の飼料メーカー（工場）との仲介を実施。

問い合わせ先：「飼料用米ダイヤル」 TEL:03-3583-8031 E-mail:Esamai@jafma.or.jp

③ 全国酪農業協同組合連合会の飼料用米の使用可能数量（平成31年1月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン)	備考
北海道	9.8	政府所有米穀(MA米)使用
東北	2.0	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
関東	1.2	政府所有米穀(備蓄米)と新規需要米併用
中部	0.4	新規需要米使用
関西	1.0	政府所有米穀(MA米)と新規需要米併用
九州	0.0	
合 計	14.4	

- (※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
 (※) 畜種別の使用割合は、29年度の使用実績では、乳用牛約85%、肉用牛約15%。
 (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
 (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
 (※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部 TEL:03-5931-8007

④ 日本養鶏連の飼料用米の使用可能数量（平成31年1月現在）

地区	年間使用可能数量 もしくは需要量 (千トン：単年度)	備考
北海道	0.0	
東北	0.5	*粳米、不可
関東	1.5	
北陸	0.0	
東海	1.2	
近畿・中国	6.0	*粳米、不可
四国	0.0	
九州	26.0	*一部、粳米不可
合 計	35.2	

- (※) 使用可能数量は、MA米、備蓄米を含み、製造工程・能力から試算した数量。
 (※) 畜種別の使用割合は、29年度の使用実績では、採卵鶏約70%、ブロイラー約25%、その他約5%。
 (※) 実際の使用にあたっては、搬入方法等によっては制限される可能性がある。
 (※) 輸入トウモロコシ価格以下であることを前提とした需要量。
 (※) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：日本養鶏連 事業部 TEL:03-5296-7041

⑤ 畜産農家の令和元年産飼料用米の新規需要量（令和元年6月28日現在）

都道府県	新規需要量		うち確保済み	
	件数	数量（トン）	件数	数量（トン）
岩手県	3	1,350	2	1,300
群馬県	2	450		
千葉県	5	6,930	3	500
山梨県	5	13		
長野県	4	277	1	3
石川県	1	9		
愛知県	3	320		
大阪府	2	15		
奈良県	5	1,610		
広島県	1	300		
香川県	4	110		
福岡県	2	1,250		
佐賀県	1	4		
長崎県	3	280	3	62
大分県	1	1,000		
宮崎県	2	2,450		
合計	44	16,368	9	1,865

（※）供給先が確保されていない新たな需要及びマッチング状況について、都道府県から報告のあった件数・数量を記載（現在とりまとめ中の都道府県もあり）。

（※）追加の希望があれば随時更新。

（※）畜種別の使用割合は都道府県の報告から、肉用牛5件1,568トン、乳用牛4件990トン、豚10件1,390トン、採卵鶏20件8,146トン、ブロイラー3件1,424トン、その他2件2,850トン。

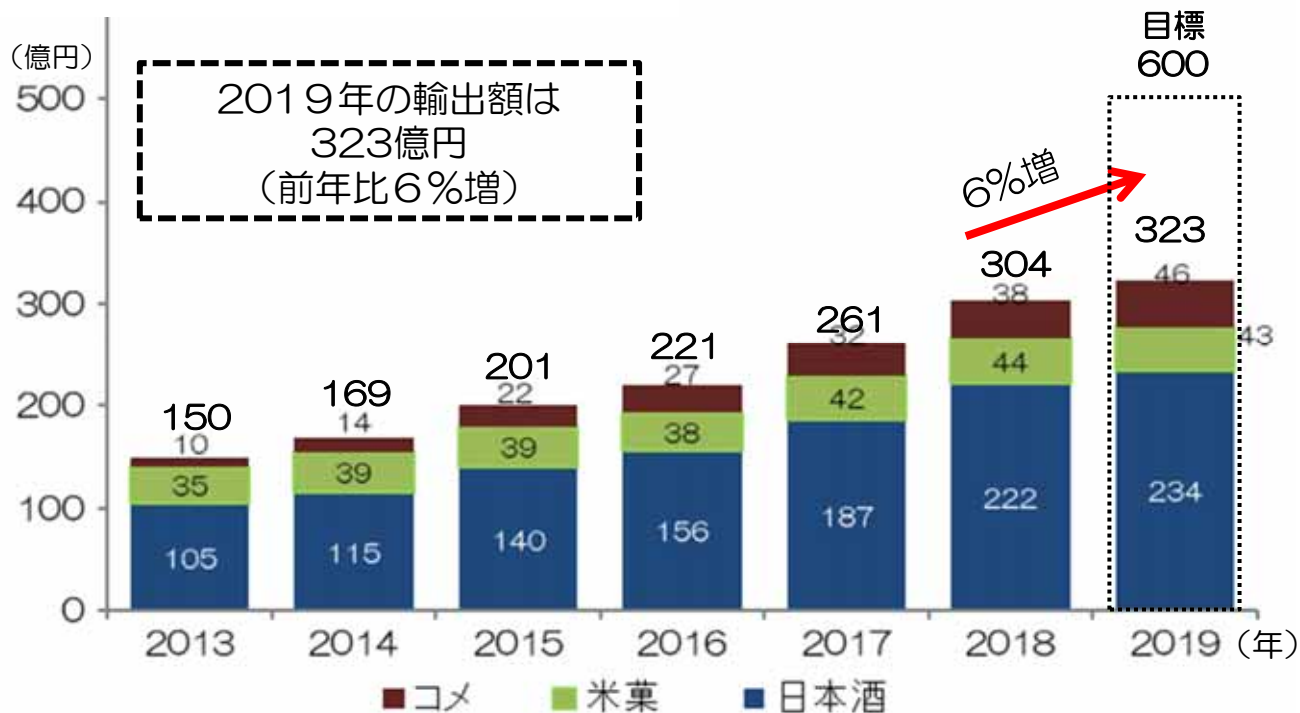
（※）四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

問い合わせ先：生産局畜産部飼料課 TEL：03-3502-5993

5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額目標を2020年（令和2年）までに600億円とすることが決定。
- 2019年の輸出額は、323億円（前年比6%増）。
- 600億円目標は達成できなかったものの、コメ・コメ加工品は数量で10%増、金額で6%増と伸びており、特に香港、米国、中国等を中心に輸出は大幅に増加。

コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品 目 名		2016年	2017年	2018年	2019年		(参考) 主な輸出先国
						対前年同期比	
コメ・コメ加工品	数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	+10%	米国 香港 台湾 韓国 シンガポール 中国
	金額	221億円	261億円	304億円	323億円	+6%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	+26%	香港 シンガポール 台湾 米国 中国
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	+23%	
	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	±0%	台湾 米国 香港 シンガポール 韓国
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	-3%	
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	-3%	米国 香港 中国 韓国 台湾 シンガポール
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	+5%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食料援助を除く。）

注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を600億円とすることとしている。

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

重点国

新興市場：台湾、豪州、E U、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

主な取組（令和元年度）

○米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

重点国

新興市場：中東、中国、E U

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

主な取組（令和元年度）

○北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

重点国

新興市場：E U、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

主な取組（令和元年度）

○中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

日本産米輸出の統一ロゴマーク



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク